

丸子地域協議会会議次第

平成 18年 12月 20日(水) 13:30~
丸子地域自治センター 4階 講堂

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について（諮問）
- 4 協議事項等
 - (6) 第一次上田市総合計画・地域まちづくり方針の策定について
 - (7) 丸子地域まちづくり方針「計画シート」について
 - (8) 今後の進め方について
 - (9) 上田市地域協議会連絡会議の設置について
 - (10) その他
- 5 その他
- 6 閉 会

第1次上田市総合計画・地域まちづくり方針の策定について

1 地域まちづくり方針策定の趣旨

合併によって東西30km南北約40km、区域面積552平方kmを有することとなった本市は、地形的な特性や歴史的な沿革、様々な市民生活の営みにより、生活文化や市民意識など社会的、経済的、文化的な特性を有するそれぞれの地域で形成されています。

住みやすく、質の高いまちづくりは、最も身近な生活の場であるこうした地域づくりから始まります。

この地域まちづくり方針は、本市全体の調和のとれた発展を目指し、地域からの様々な提言や意見等を踏まえながら策定中である第一次上田市総合計画の一部として、自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向を示すものとして策定するものです。

2 地域まちづくり方針の区域と策定方針

地域まちづくり方針は、下記九つの地域協議会の区域を明示しながら、第一次上田市総合計画の策定方針(別紙2)に基づき、市長が各地域協議会へ諮問したうえで、総合計画との調整を図り、その一部として位置付けます。

- 上田中央地域(中央公民館の区域)
- 上田西部地域(西部公民館の区域)
- 上田城南地域(城南公民館の区域)
- 神科豊殿地域(豊殿地域自治センターの区域)
- 塩田地域(塩田地域自治センターの区域)
- 川西地域(川西地域自治センターの区域)
- 丸子地域(丸子地域自治センターの区域)
- 真田地域(真田地域自治センターの区域)
- 武石地域(武石地域自治センターの区域)

3 地域まちづくり方針の構成

地域特性と発展の方向

地域まちづくり方針を定めるにあたって押さえておくべき地域の特性と、今後の方向性を概括的に示すものです。

地域まちづくり方針

上記発展の方向を具体化していくために必要と思われる主な取り組みを示すもので、市民、行政、さらに市民と行政の協働によって実現していくべき共通目標として位置付けます。

4 地域まちづくり方針の期間

第一次上田市総合計画の基本構想と同様、8年間(平成20年度～27年度)とし、基本計画の目標年度(平成23年度)に合わせて見直しも検討します。

5 諮問の具体的内容

自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向を示す必要があるため、各地域協議会ごとに「地域まちづくり方針」として盛り込むことが望ましい事項を立案していただきます。その際に、「地域特性と発展の方向」と「地域まちづくり方針」に整理した計画シートを作成していただきますが、新市建設計画「地域別整備の方針」を踏まえながら、「地域まちづくり方針」は全部で7項目以内に絞り込み、計画シートを添付した答申をお願いします。

第一次上田市総合計画の策定に合わせるため、平成19年2月5日までに答申願います。

総合計画の策定方針について

1 総合計画とは

総合計画は、将来目指すべき都市の姿や目標を示し、その実現に向けて総合的かつ計画的にまちづくりを進めていくための指針となるもので、市が作る計画の中では最も上位に位置付けられるものです。

2 第一次総合計画の特徴

新市建設計画(将来像・理念等)を尊重
分権型合併の趣旨を計画策定の中で実現
(地域協議会「地域まちづくり方針」について諮問)
重点分野・プロジェクトを設定
進行管理のための指標・目標値を設定
計画期間は新市建設計画と整合
基本構想8年、目標年度:平成27年度
基本計画4年、目標年度:平成23年度

3 総合計画の構成

基本構想 (地方自治法第2条第4項)

上田市の将来像及び基本理念を定め、基本方針及び施策の大綱を明らかにします。

基本計画

基本構想に掲げる将来像を実現するため、前期計画、後期計画に区分した上で、施策、重点プロジェクト及び地域計画等を明らかにします。

実施計画

基本計画に定めた施策を効果的に実施するため、必要かつ具体的な事業を明らかにする3ヵ年のローリング方式による短期的・具体的計画とします。

国土利用計画 (国土利用計画法第8条)

基本構想に即して、望ましい土地利用のための基本方向を明らかにするもの。総合計画と密接不可分な計画であるため、平行して策定作業を進めます。

4 総合計画の区域と範囲

市が実施主体となる施策・事業
広域及び周辺市町村における諸計画との整合に配慮
必要に応じて国、県その他の機関及び企業、市民などが果たす役割 分担について明示

5 総合計画策定にあたっての基本姿勢

新市建設計画の将来像・理念等の尊重
新市の望ましい姿、それに対する現状と課題を把握
 施策・基本事務事業を計画
地域の自主性と創意工夫の誘発・助長
新市の自然的、歴史的、文化的、経済的、社会的諸条件に立脚
各種個別計画策定作業との調整
広域との関連に配慮
市民への積極的な情報提供、意見反映
全職員の参画
進行管理のための指標・目標値の設定
市民ニーズ、緊急度、必要性、事業効果を考慮、実効性の確保
各部門の施策・手段の組織化・体系化による総合力の発揮

6 市民の参画

総合計画審議会

- ・定員60人で条例化、7部会を設置。
- ・審議会に幹事を置き、部局長を充てる。
- ・各部局担当による部会運営。

地域別懇談会

(市民の意見、地域課題の把握を目的とした広聴会)

分野別懇談会

(各分野で専門的に活動する市民意見の把握を目的とした広聴会)

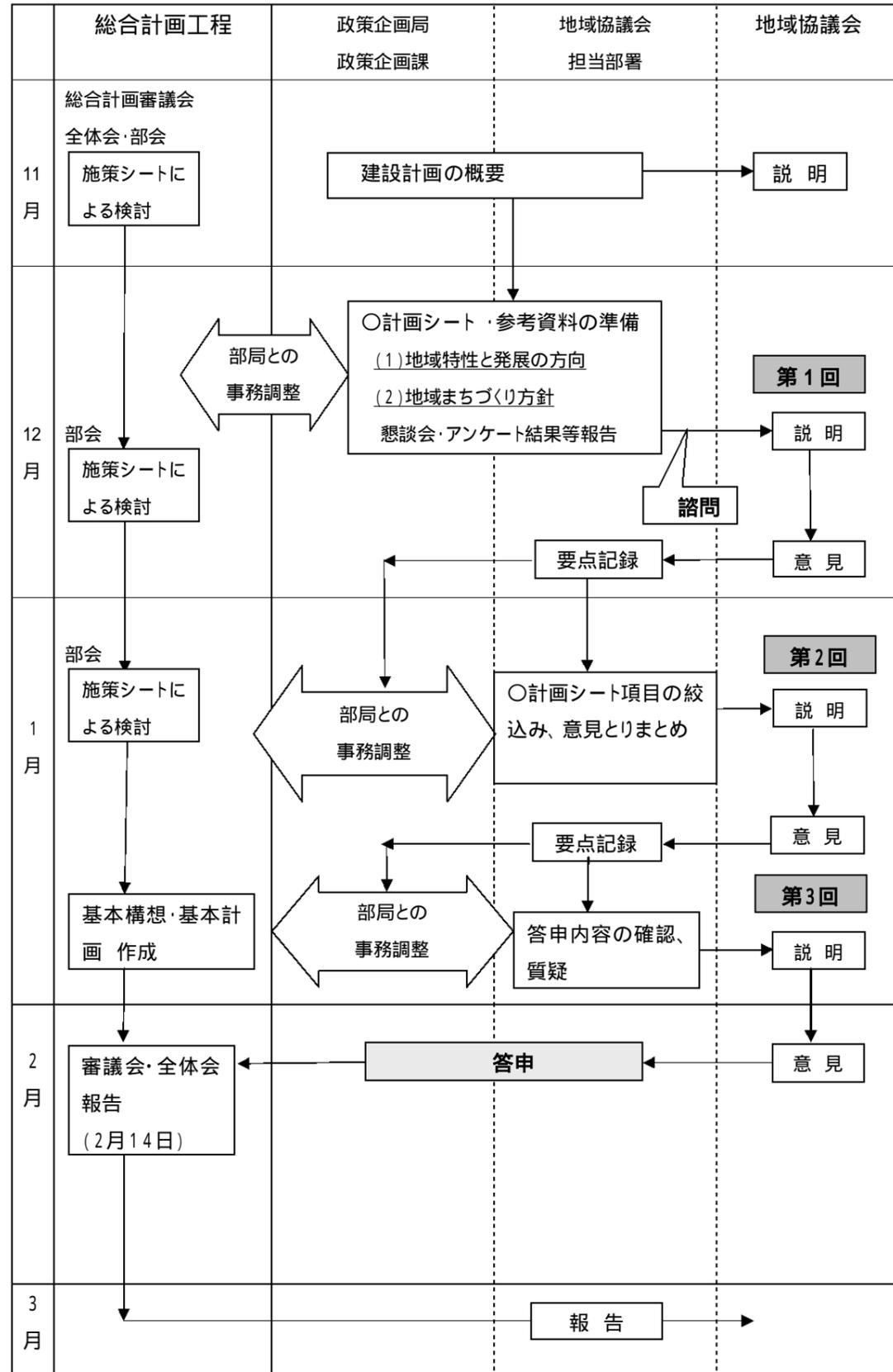
地域協議会

(地域まちづくり方針の審議)

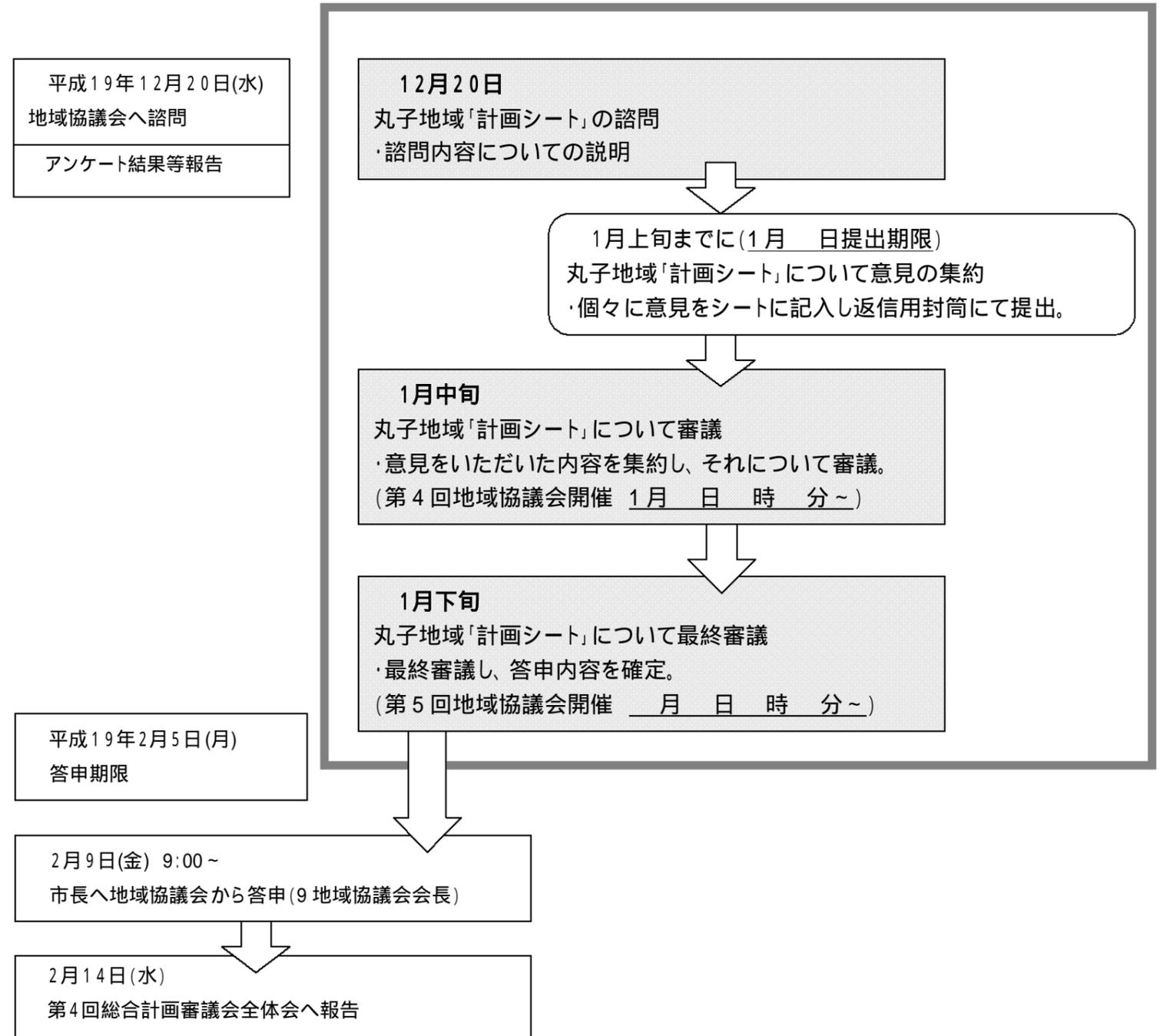
市民意識調査(アンケート調査)

意見・提言募集

上田市総合計画「地域まちづくり方針」策定の手順



丸子地域協議会の日程



丸子地域まちづくり方針「計画シート」

地域特性と発展の方向		地域まちづくり方針		
丸子地域 A			<p>自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向を示す必要があるため、各地域協議会ごとに「地域まちづくり方針」として盛り込むことが望ましい事項を下記以外に2項目以内に絞り込み、答申をお願いします。(200字程度)</p>	
	<p>「地域特性と発展の方向」については、新市建設計画「地域別整備の方針」に加え、各地域協議会ごとに、地域の事項として新たに加えることが適当と思われる要素があれば、これについても答申をお願いします。下記の内容に追加、訂正すべきことがあれば記入してください。</p>	<p>軽快な交通ネットワークの整備</p>	<p>東京と中京を結ぶ国道254号、上小と諏訪を結ぶ国道152号が交差するなど、丸子地域は交通の要所であるため、大型車の交通量が多く、引き起こされる騒音や渋滞によって住環境などが悪化しており、また、国道254号は代替路線や緊急時の迂回路がないといった課題もあります。 上田地域都市環状道路の丸子地域内の整備やその他の道路網整備を進め、町の市街地を通過する車両の分散で騒音や渋滞を減らすことによって、安心・安全な環境の構築を目指すとともに、新市内の人・物・情報の循環と地域外交流の促進を支えていきます。</p>	<p>地域まちづくり方針は新市建設計画の「地域別整備の方針」を元に策定することとなり、既に記載されている内容は、新生「上田市」建設計画のP51～52に記載されているものです。</p>
丸子地域 B	<p>地域内に集積している製造業を中心とした産業資源や技術力を生かし、雇用の受け皿として産業の活性化を図ることにより新市の発展を支えていきます。 また、生活環境の整備によって職住近接のゆとりある生活空間を形成するとともに、丸子温泉郷や豊かな自然・文化を生かすことで、新市における心と健康の里としての機能や、生涯学習の里としての機能を担っていきます。</p>	<p>健康 × 観光 × 自然 = 交流人口の拡大</p>	<p>豊かな自然環境に加え、丸子温泉郷といった観光資源や医療機関を中心とした健康づくりの環境に恵まれています。また、信州国際音楽村周辺においては、住民の創意と工夫のもとに音楽と自然とが調和した公園づくりが進められています。 さらに、アメリカ合衆国ブルームフィールド市郡との友好提携やアップウィズピープルへの係わりなど、国際親善の経験と実績が丸子地域には蓄積されています。 こうした丸子地域特有の資源を最大限に生かし、世界を視野に入れた新市の交流人口の拡大に取り組んでいきます。</p>	<p>合併にあたって策定された「新市建設計画」の尊重を策定方針にしているため、丸子地域に関する記述についても、基本的に建設計画の内容を踏襲していきますが、各項目の内容について追加または修正することが望ましい視点があれば、地域協議会の意見として付記してください。</p>
		<p>新たな産業ブランドの創出</p>	<p>新市において特に依田窪地域の玄関口としての役割を担うため、地域内商店街へのゆとり空間の創出や、顧客ニーズに合わせた商業経営ができるよう商業の集積を行うとともに、後継者の育成を支援していきます。 また、陣場台地ではその土壌の特性を生かし、加工用ブドウ畑の造成を今後も推進するとともに周辺環境の整備を進めることによって、新たな産業ブランドの創造を目指し、新市の魅力を高めることにつなげていきます。</p>	
		<p>生涯学習活動拠点の充実と新図書館の整備</p>	<p>生涯学習の拠点として、丸子町文化会館（セレスホール）や信州国際音楽村の充実に努めます。 さらに、生涯学習などの市民活動からビジネス活動まで様々な要望に応えることのできる、人・物・情報が行き交う新図書館の整備を進めます。新図書館では従来の図書館機能を充実させるだけでなく、地域に根ざした資料・情報の収集と発信を行います。また、新図書館に集う人的交流により生み出されるネットワークを生かし、地域に目を向けた様々な活動を促進することで、丸子地域や新市の活性化を図っていきます。</p>	
		<p>可能性を秘めた雇用・居住・福祉の拠点整備</p>	<p>㈱カネボウ丸子工場跡地は旧丸子町土地開発公社（現上田市と地開発公社）が代行買収し、平成21年度までの計画的な取得を続けています。この広大な土地の活用については、新たなにぎわいと憩いの場として、雇用・居住・福祉において丸子地域や新市の拠点となるよう、住民の意見を聴きながら整備を進めていきます。</p>	

丸子地域まちづくり方針「計画シート」(提出用)

地域特性と発展の方向		地域まちづくり方針	
丸子地域 A			
丸子地域 B	<p>地域内に集積している製造業を中心とした産業資源や技術力を生かし、雇用の受け皿として産業の活性化を図ることにより新市の発展を支えています。</p> <p>また、生活環境の整備によって職住近接のゆとりある生活空間を形成するとともに、丸子温泉郷や豊かな自然・文化を生かすことで、新市における心和む健康の里としての機能や、生涯学習の里としての機能を担っていきます。</p>	<p>軽快な交通ネットワークの整備</p>	<p>東京と中京を結ぶ国道254号、上小と諏訪を結ぶ国道152号が交差するなど、丸子地域は交通の要所であるため、大型車の交通量が多く、引き起こされる騒音や渋滞によって住環境などが悪化しており、また、国道254号は代替路線や緊急時の迂回路がないといった課題もあります。</p> <p>上田地域都市環状道路の丸子地域内の整備やその他の道路網整備を進め、町の市街地を通過する車両の分散で騒音や渋滞を減らすことによって、安心・安全な環境の構築を目指すとともに、新市内の人・物・情報の循環と地域外交流の促進を支えていきます。</p>
		<p>健康×観光×自然=交流人口の拡大</p>	<p>豊かな自然環境に加え、丸子温泉郷といった観光資源や医療機関を中心とした健康づくりの環境に恵まれています。また、信州国際音楽村周辺においては、住民の創意と工夫のもとに音楽と自然とが調和した公園づくりが進められています。</p> <p>さらに、アメリカ合衆国ブルームフィールド市郡との友好提携やアップウィズピープルへの係わりなど、国際親善の経験と実績が丸子地域には蓄積されています。</p> <p>こうした丸子地域特有の資源を最大限に生かし、世界を視野に入れた新市の交流人口の拡大に取り組んでいきます。</p>
		<p>新たな産業ブランドの創出</p>	<p>新市において特に依田窪地域の玄関口としての役割を担うため、地域内商店街へのゆとり空間の創出や、顧客ニーズに合わせた商業経営ができるよう商業の集積を行うとともに、後継者の育成を支援していきます。</p> <p>また、陣場台地ではその土壌の特性を生かし、加工用ブドウ畑の造成を今後も推進するとともに周辺環境の整備を進めることによって、新たな産業ブランドの創造を目指し、新市の魅力を高めることにつなげていきます。</p>
		<p>生涯学習活動拠点の充実と新図書館の整備</p>	<p>生涯学習の拠点として、丸子町文化会館（セレスホール）や信州国際音楽村の充実を図ります。</p> <p>さらに、生涯学習などの市民活動からビジネス活動まで様々な要望に応えることのできる、人・物・情報が行き交う新図書館の整備を進めます。新図書館では従来の図書館機能を充実させるだけでなく、地域に根ざした資料・情報の収集と発信を行います。また、新図書館に集う人的交流により生み出されるネットワークを生かし、地域に目を向けた様々な活動を促進することで、丸子地域や新市の活性化を図っていきます。</p>
		<p>可能性を秘めた雇用・居住・福祉の拠点整備</p>	<p>(株)カネボウ丸子工場跡地は旧丸子町土地開発公社（現上田市と地開発公社）が代行買収し、平成21年度までの計画的な取得を続けています。この広大な土地の活用については、新たなにぎわいと憩いの場として、雇用・居住・福祉において丸子地域や新市の拠点となるよう、住民の意見を聴きながら整備を進めていきます。</p>

これからのまちづくりのためにあなたの声を聞かせてください！

住民アンケート調査

アンケート調査ご協力をお願い

日ごろから市政に対しご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

このたび市では、平成18年3月6日合併による新生上田市としての新たな発展を目指すため、合併時に策定した新市建設計画を基本としながら、市の将来像や施策の検討を行い、第1次上田市総合計画及び国土利用計画を策定することになりました。

これからのまちづくりは、地球環境の保全や身近な生活環境に至るまで、様々な取り組みが必要になるとともに、これらを、市民の皆様と共に考え、進めていく必要があります。このため、市民の皆様のまちづくりへの考え方・ご意見等について伺い、計画づくりへと活かしていくためのアンケート調査を実施することとしました。

調査対象につきましては、市にお住まいの男女18歳以上の方4,500人を無作為に選出させて頂いたものであり、ご回答は全て統計的に処理しますので、ご回答頂いた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しいところ、ご面倒をおかけいたしますが、**調査の趣旨をご理解頂き、ご協力頂きますようお願いいたします。**

平成18年10月

上田市長 母袋 創一

記入についてのお願い

1. 設問への回答は、**別添の調査票**により、宛て名にあるご本人がお答えください。
2. お名前や住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入が終わりましたら、**同封の返信封筒に調査票を入れ**、切手をはらずに

10月23日(月)までにポストにお入れください。

返信用封筒に記載されているバーコードは、料金受取人払い用の受取人認識のためのものです。個人を特定するものではありません。

問合せ先 上田市 政策企画局 政策企画課
TEL (23) 5112 (直通)
FAX (25) 4100 (代表)
担当 滝沢 室賀 西沢

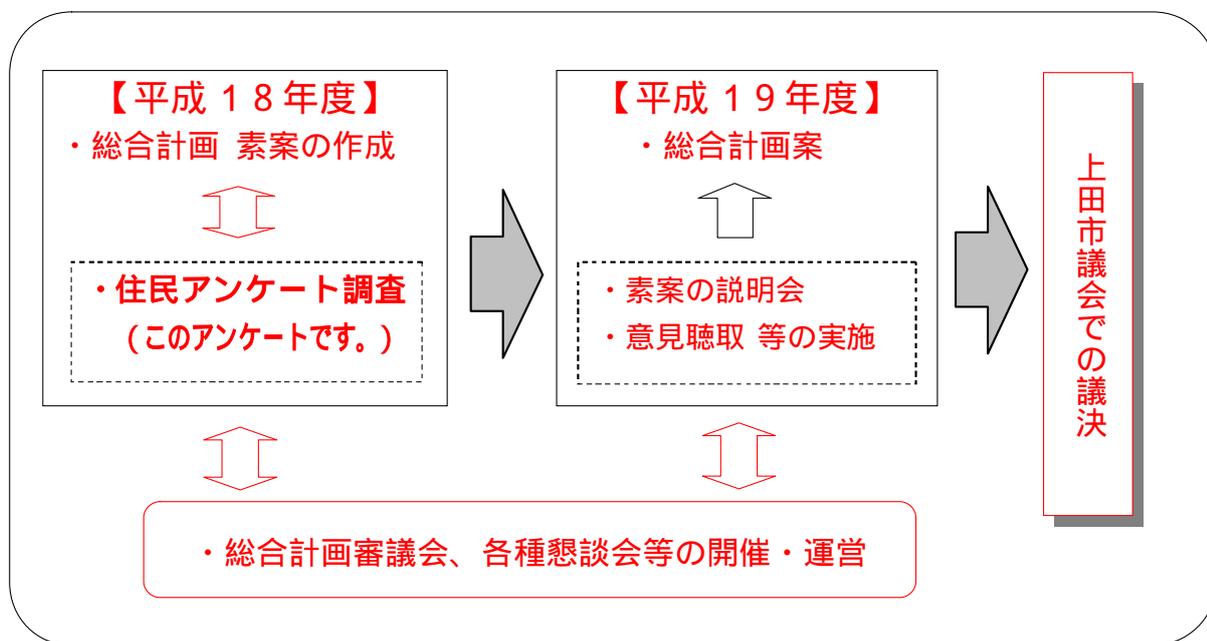
総合計画ってなに？



総合計画とは、福祉、医療、産業、環境、建設、上下水道、教育、文化、消防など、市が行うすべての分野にわたる計画の指針となるもので、上田市が目指すまちづくりの方向や、それを実現するための施策・事業などを定める重要なものです。

いわば「上田市をこんなまちにしたい！」という思いを『まちの将来像』として描き、それを実現するために何をすればよいかを決めている計画が“総合計画”です。

これからの計画づくりの流れ（概略）



住民アンケート結果（速報値）

【地域協議会資料】

目 次

凡 例 (市) = 市全体の集計 (地域) = 各地域単位の集計
--

アンケートの概要	1
1. 回答者属性	2
2. 上田市の住みやすさについて	
【問1】 上田市の住みやすさ(市・地域)	3
【問2】 住みやすいと感じる主な理由(市・地域)	4
【問3】 住みにくいと感じる主な理由(市・地域)	5
【問4】 上田市への永住願望(市・地域)	6
【問5】 日常生活の中での満足度(地域)	7
3. 上田市全体の土地利用について	
【問6】 上田市の土地利用上の課題(市)	8
【問7】 重点的な取り組み(市)	9
4. お住まいの地域における土地利用について	
【問8】 地域の将来像(市・地域)	10
【問9】 地域の将来像実現に向けた取り組み(市・地域)	12
5. 市の全般的な施策や事業等について	
【問10】 市の施策・事業に対する満足度と重要度(市)	14
【問11】 「元気あるまち」にするための取り組み(市)	17
6. 市民参加・コミュニティについて	
【問12】 行政情報の提供度合い(市)	18
【問13】 行政情報の入手手段(市)	18
【問14】 まちづくりに対する市民の意見の反映(市)	18
【問15】 地域やコミュニティの活動活発化のための組織づくり(市)	19
【問16】 市民参加の状況と意向(市)	19

注：設問ごとに示した【回答の傾向】は、市全体の傾向のみを示しています。

住民アンケート結果（速報値）について

アンケートの概要

アンケート実施期間：平成 18 年 10 月 13 日～10 月 23 日

アンケート対象及び方法：上田市在住の 18 歳以上の男女を無作為抽出し、郵送による配布・回収

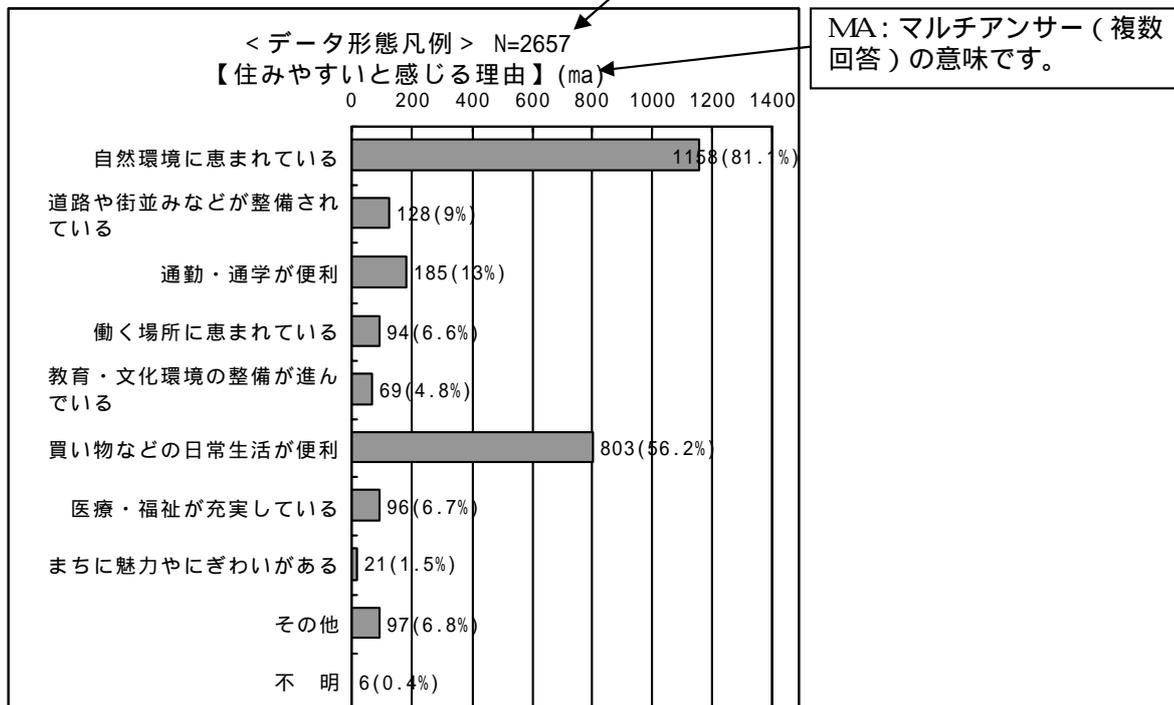
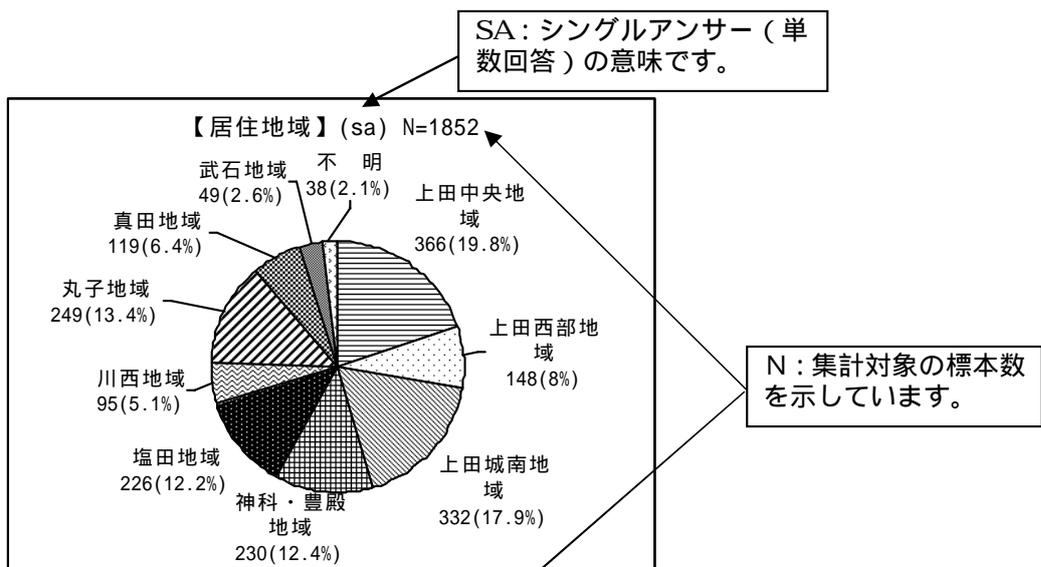
アンケート配布数：4,500 通

回収数：1,956 通

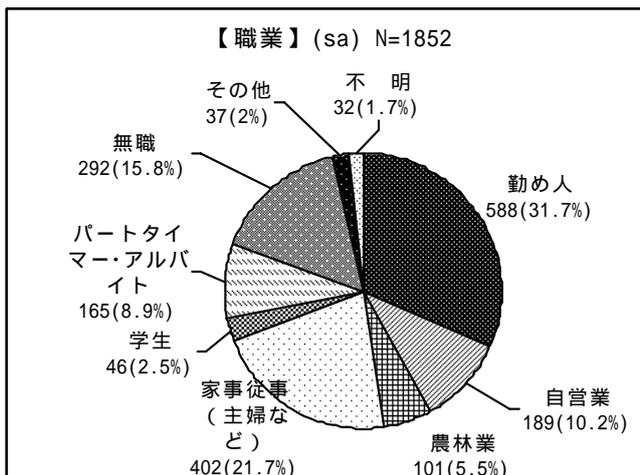
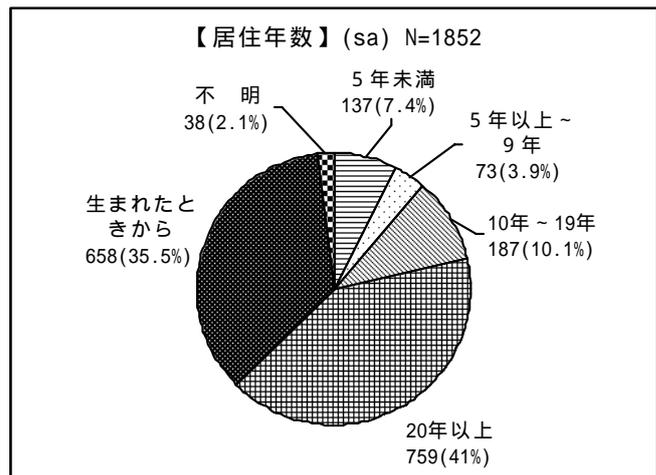
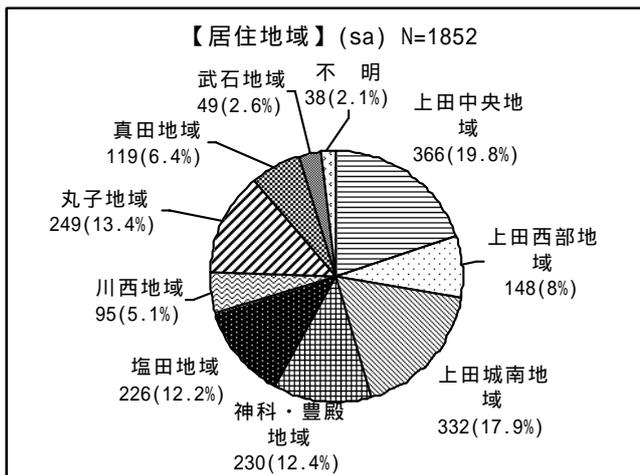
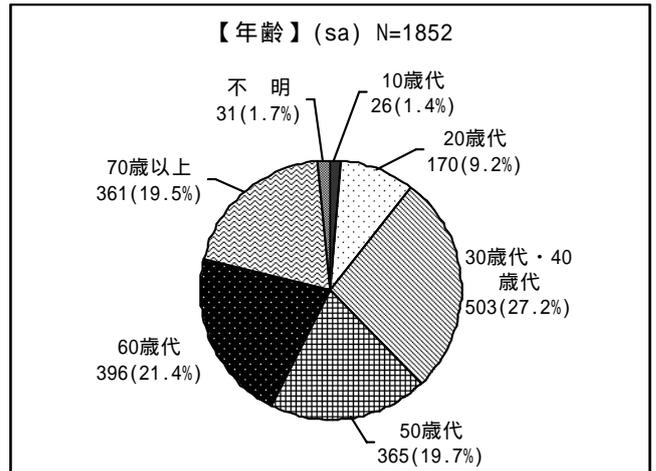
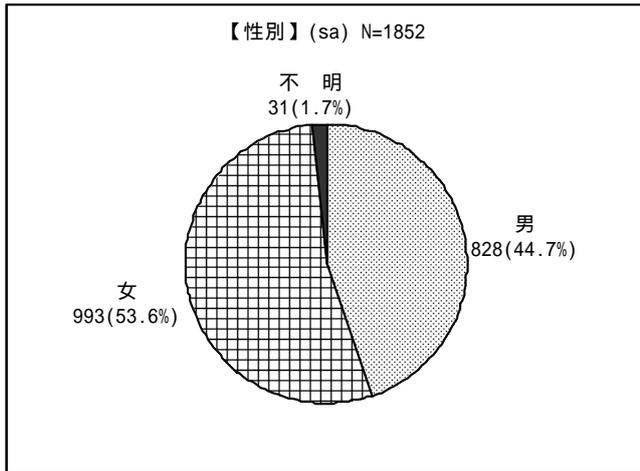
(ただし速報値の集計については、10 月 27 日までに回収された 1,852 通で実施している)

回収率：43.5%

グラフの見方



1. 回答者属性

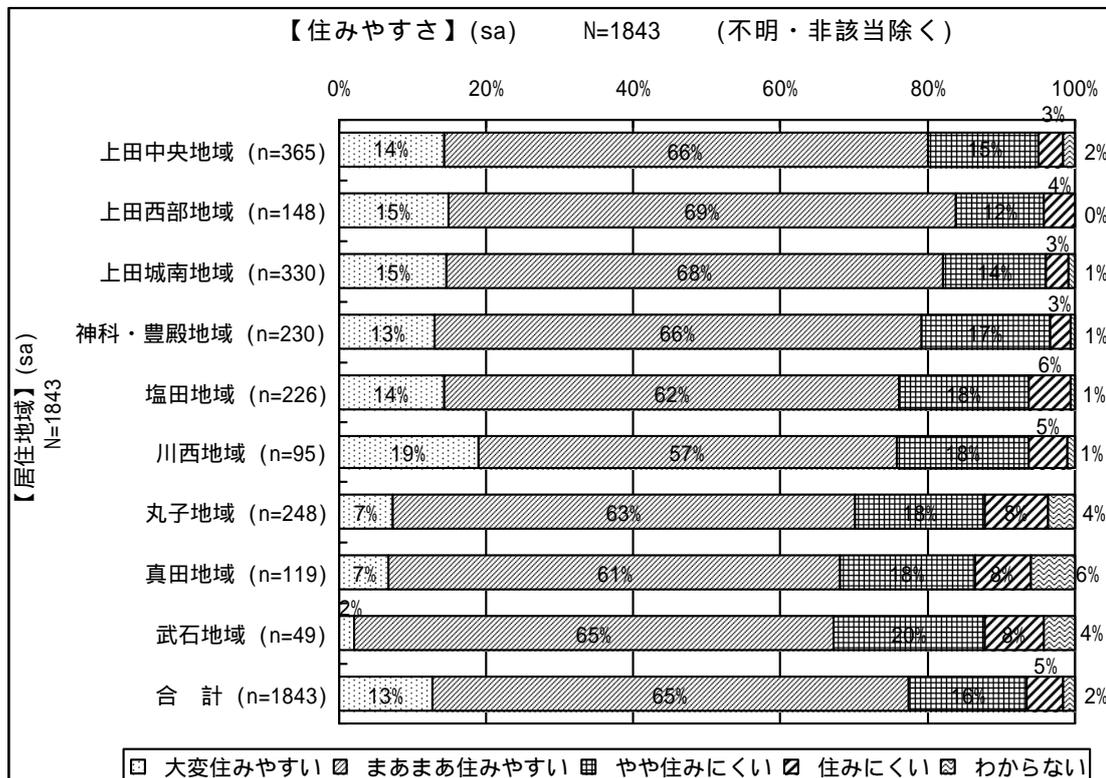
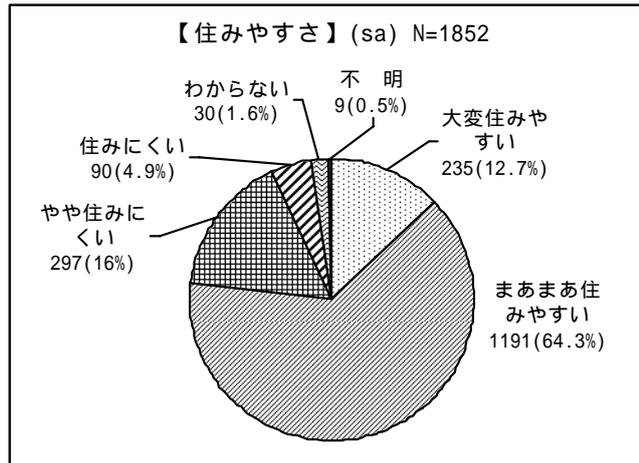


2. 上田市の住みやすさについて

問1 あなたは、上田市は住みやすいまちだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

【回答の傾向】

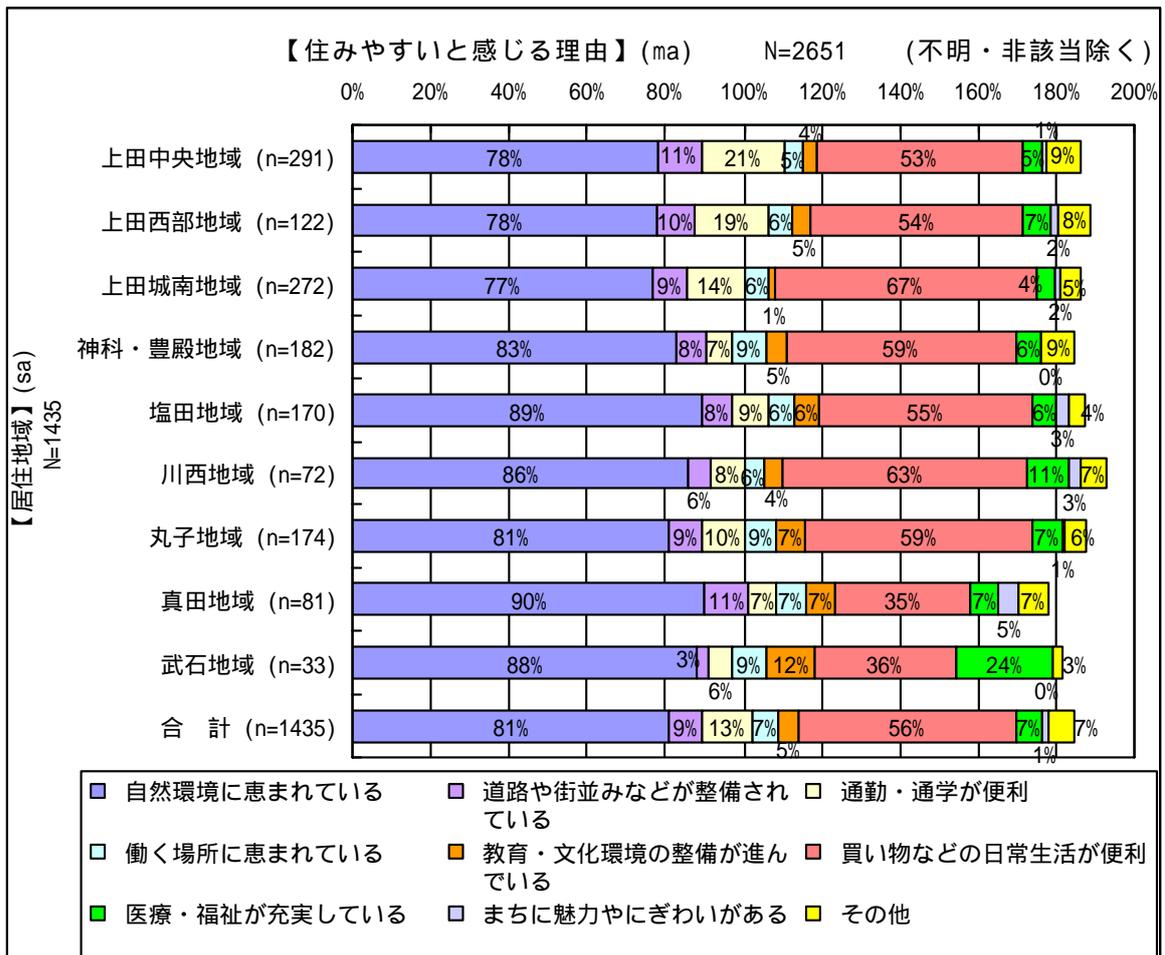
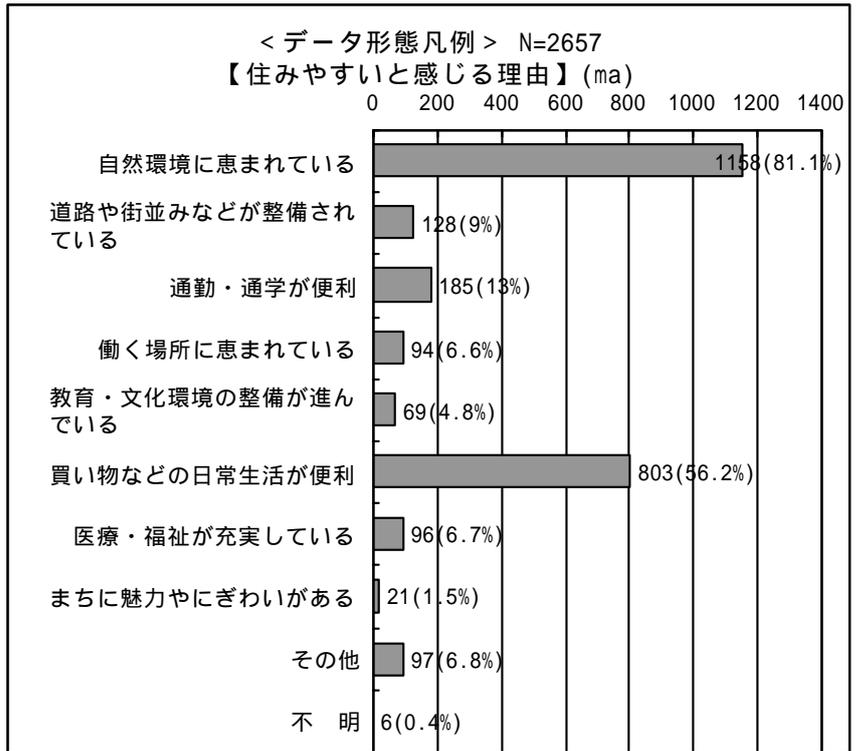
「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせると77%の人が、概ね住みやすいと感じている。



問2 問1で1「大変住みやすい」2「まあまあ住みやすい」とお答えになった方にお尋ねします。
住みやすいと感じる主な理由は何ですか。次の中から 2つまで 選んでください。

【回答の傾向】
「自然環境に恵まれている」と「買い物などの日常生活が便利」が突出して多い。

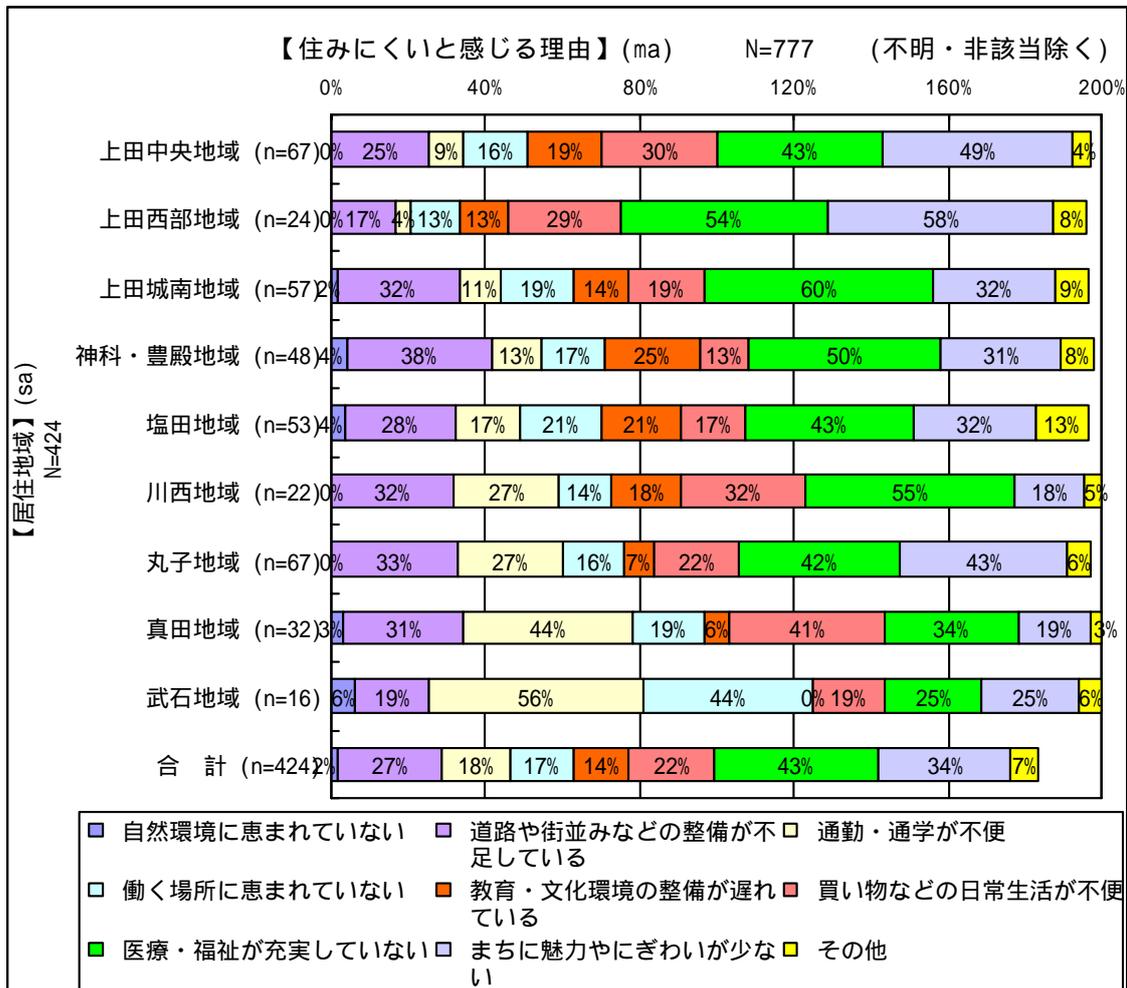
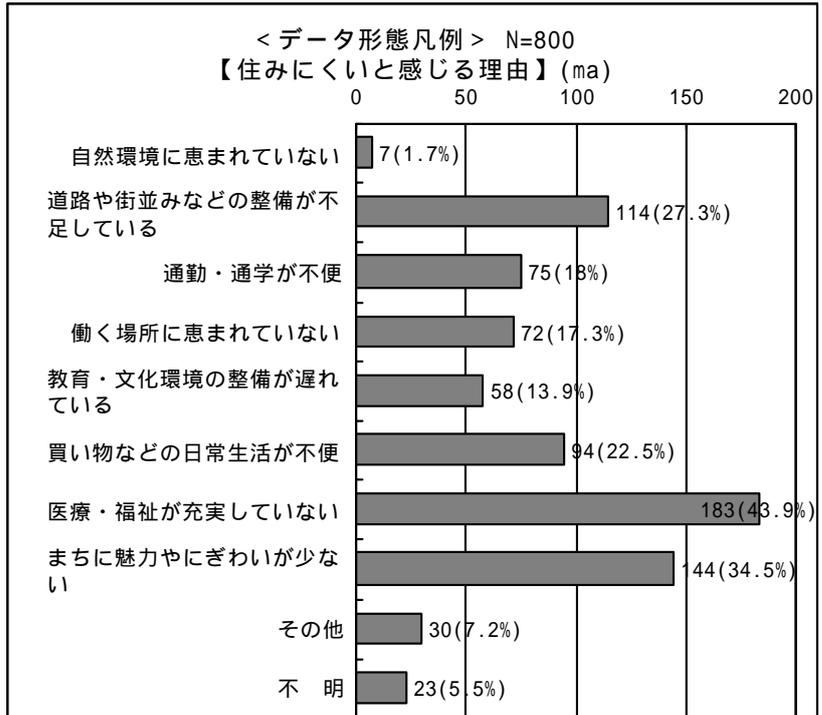
- その他の意見
- ・気候がよい
 - ・自然災害が少ない
 - ・新幹線が通っている
 - ・物価が安い
 - ・子育て環境がよい
 - ・住み慣れている
 - ・人情味がある
- など



問3 問1で3「やや住みにくい」4「住みにくい」とお答えになった方にお尋ねします。住みにく
いと感じる主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

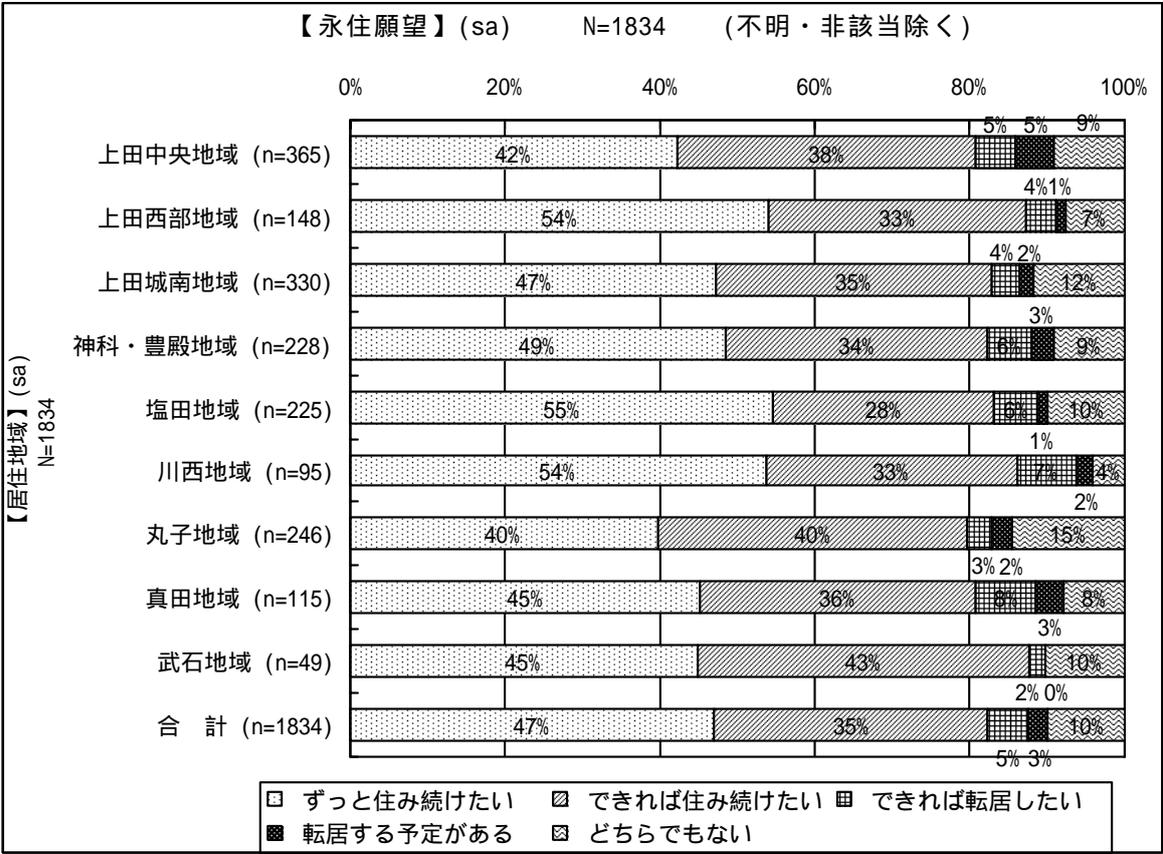
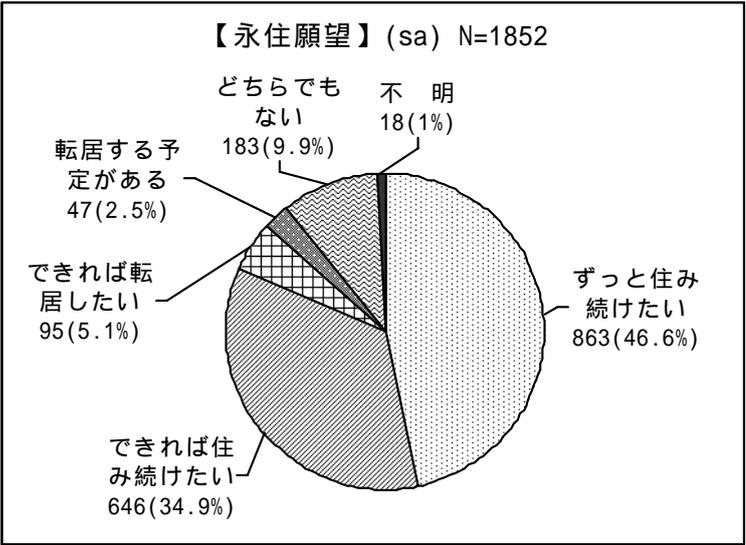
【回答の傾向】
「医療・福祉が充実してい
ない」「まちに魅力や賑わ
いが少ない」が特に多い。

- その他の意見
- ・交通機関が不便
 - ・車がないと生活できない
(高齢者は不便)
 - ・人間関係の煩わしさ
 - ・税金が高い
- など



問4 あなたは今後も上田市に住み続けたいとお考えですか。次の中から 1つだけ選んでください。

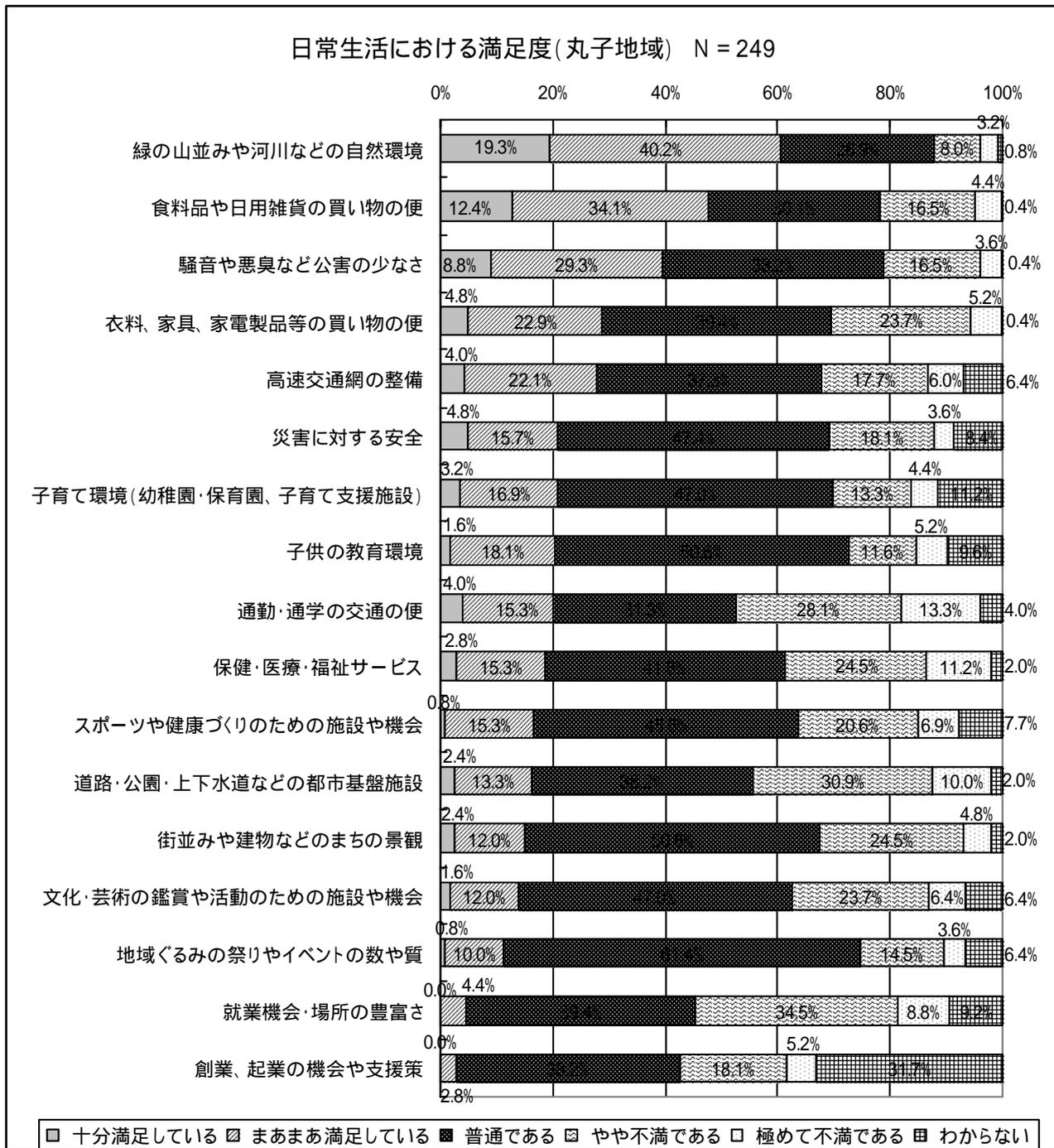
【回答の傾向】
 「ずっと住み続けたい」がほぼ半数。
 「できれば住み続けたい」を合わせると全体の80%以上。



問5 日常生活の中で次のことについてどの程度満足しているか について、項目ごとにあなたの **最も近い番号それぞれ1つに** をつけてください。

【丸子地域】

日常生活の満足度の高い順(「十分満足している」「まあまあ満足している」の合計)に整理したのが以下のグラフです。



3. 上田市全体の土地利用について

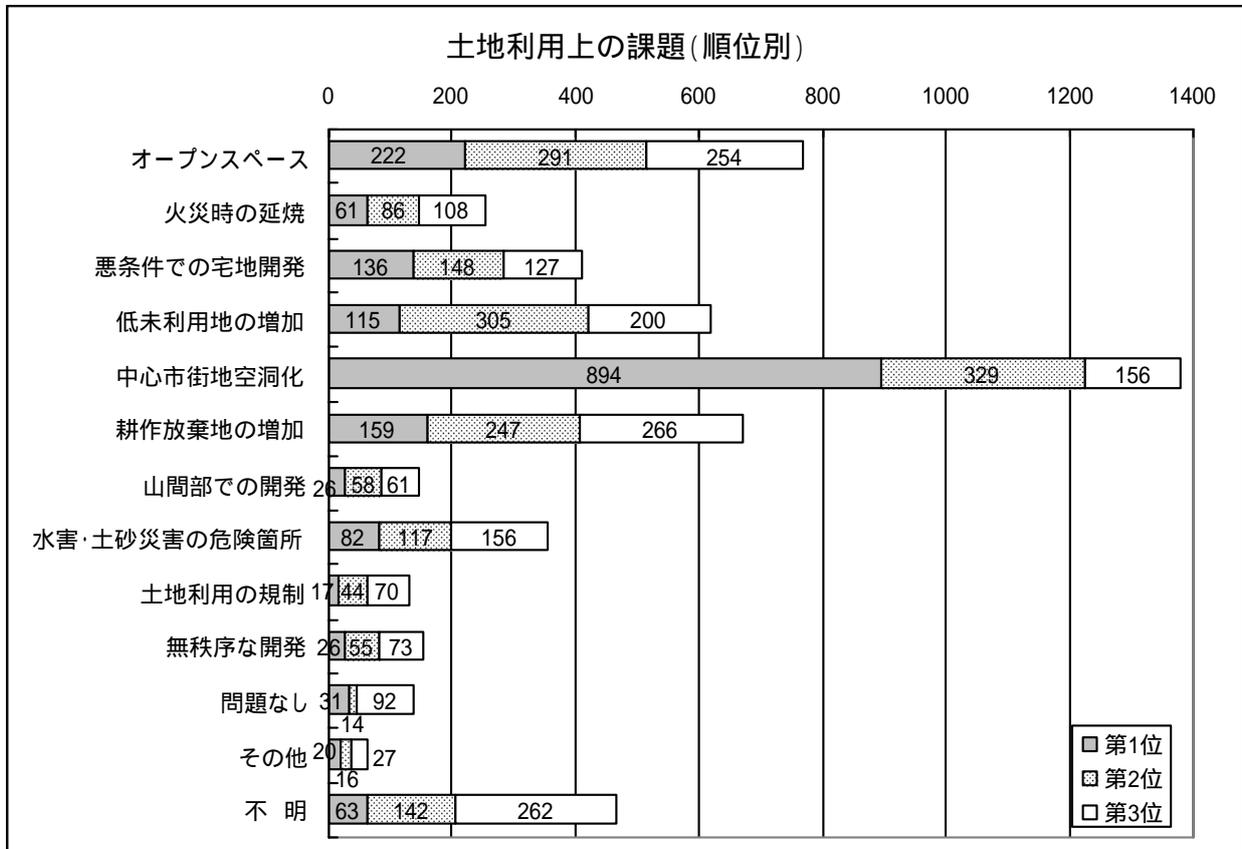
問6 上田市の土地利用上の課題はどんなことだと思いますか？課題解決の優先順位が高いと思われる順に3つ選んでお答えください。

選択肢

- 1 市街地にオープンスペース（道路や公園・緑地など）が少ない
- 2 古い住宅が密集しており、火災時に延焼の危険がある
- 3 道路が狭い地域や排水が悪い地域で宅地開発が行われている
- 4 市街地に空き地や利用度の低い土地が目立つ
- 5 中心市街地が空洞化しており、魅力ある商業施設がないなど、街の魅力が低下している
- 6 農村部で耕作が放棄された農地が目立っている
- 7 山間部で開発が行われ、周辺環境に悪影響を及ぼしている
- 8 水害や土砂崩れなど、防災上危険な場所が存在している
- 9 土地利用の規制が厳しく、自由な土地利用ができない
- 10 土地利用の規制が緩く、無秩序に開発が行われている
- 11 特に問題は感じない
- 12 その他

【回答の傾向】

「中心市街地空洞化」が突出しており、以下、「市街地のオープンスペースの不足」「耕作放棄地の増加」の順である。



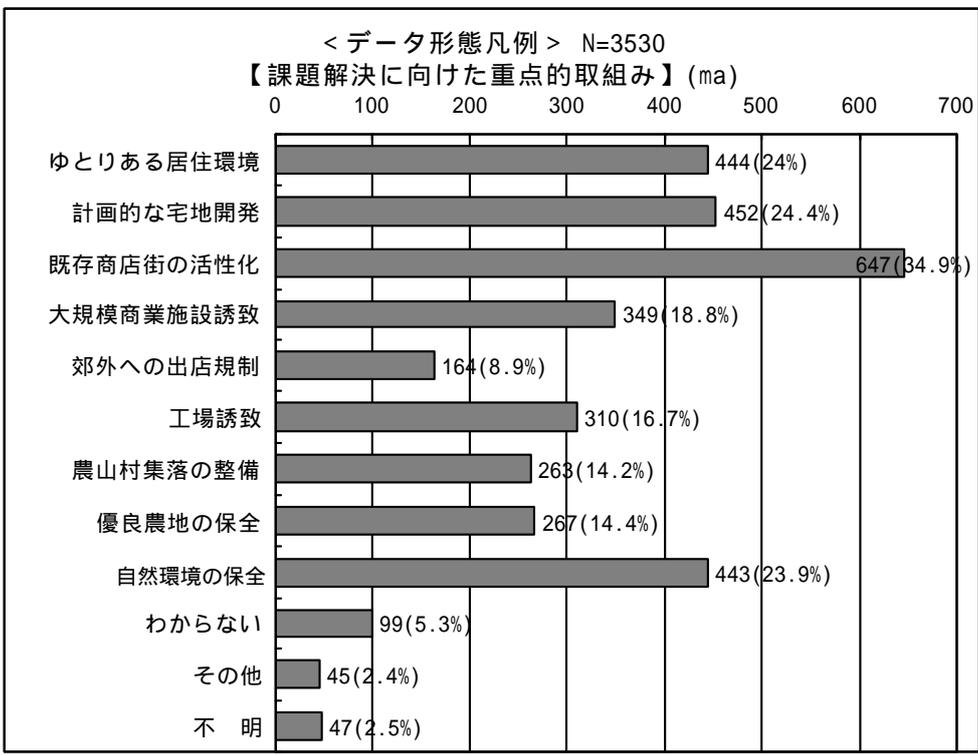
その他の意見

・ 公共施設の配置の地域別の偏り / 土地・地域性を生かした都市計画 / 交通渋滞 / 住・商・工の混在 / 城下町にそぐわないマンションの立地 / 街中の駐車場不足 / 市民会館の場所 / 狭隘道路が多い / 空家の増加 / 山林における樹木の立ち枯れの増加 など

問7 将来の上田市の土地利用について、どんなことを重点的に取り組んでいくことが望ましいと思いますか。次の中から該当するものを 2つまで 選んでお答えください

- 選択肢
- 1 ゆとりある居住環境の形成
 - 2 周辺環境に配慮した計画的な宅地開発の規制・誘導
 - 3 既存商店街の活性化による商業機能の充実
 - 4 市街地内への大規模商業施設誘致による商業機能の充実
 - 5 郊外への大規模商業施設の出店の規制
 - 6 積極的な工場誘致による工業用地の拡大
 - 7 農山村集落における生活基盤施設の整備
 - 8 優良農地の保全と耕作放棄地の抑制
 - 9 森林等の自然環境を保全し、開発は抑制（限定）
 - 10 わからない
 - 11 その他

【回答の傾向】
 「既存商店街の活性化」が最も多く、以下、「計画的な宅地開発」「ゆとりある居住環境」の順である。



その他の意見

- ・ 公共施設の集約 / スポーツ施設の整備 / 公園の新規整備 / 街なかの駐車場整備 / 集客施設の誘致（街なか、郊外） / 質の高い商品を置く店舗誘致 / 農地の規制を緩和し自由な土地利用ができるようにする / 環境汚染に対する規制強化 / 現在あるものを整備していく など

4. お住まいの地域における土地利用について

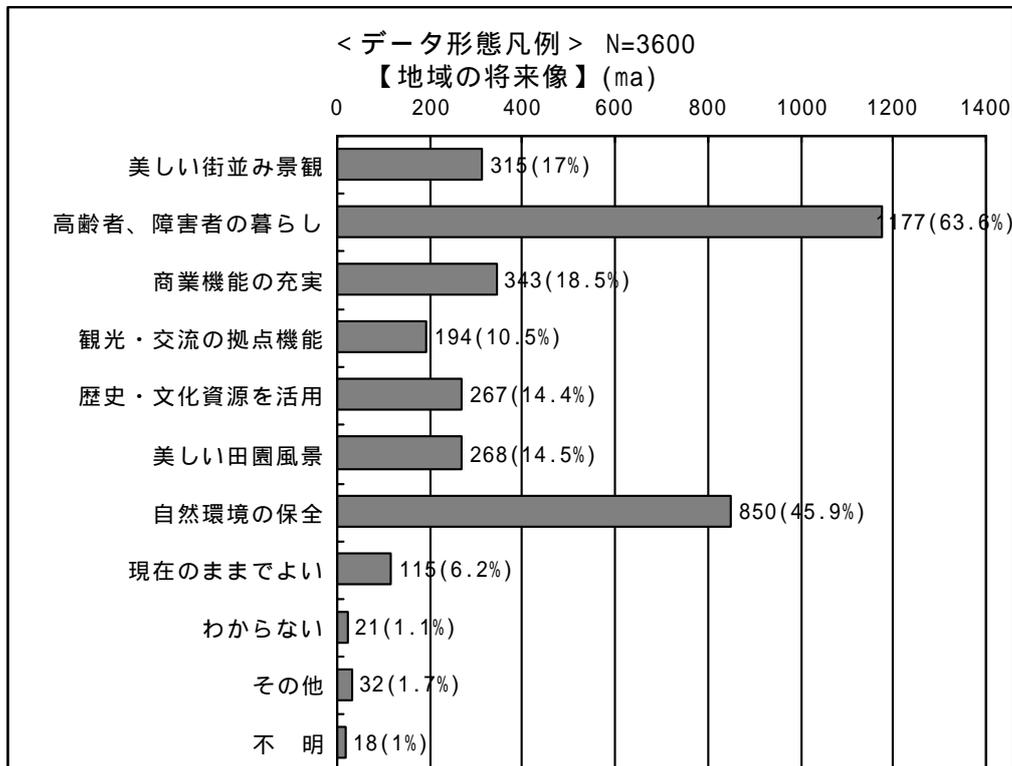
問8 あなたの住んでいる地域は将来どんな地域になったらよいと思いますか。次の中から該当するものを2つまで選んでお答えください。

選択肢

- 1 美しい街並み景観をもつまち
- 2 高齢者、障害者が暮らしやすいまち
- 3 商業機能の充実による賑わいのあるまち
- 4 観光・交流の拠点機能をもつまち
- 5 歴史・文化資源を活用したまち
- 6 美しい田園風景をもつまち
- 7 豊かな自然環境の保全に配慮したまち
- 8 現在のままでよい
- 9 わからない
- 10 その他

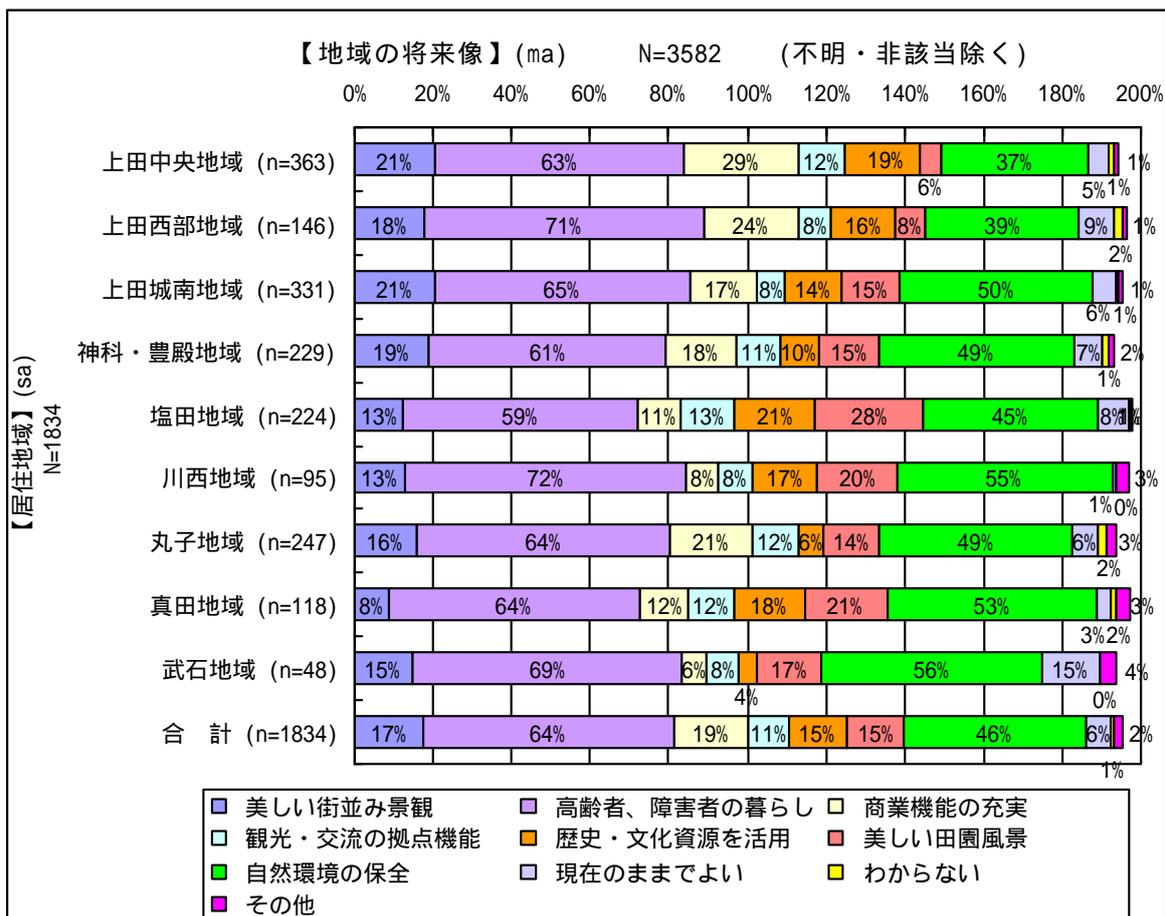
【回答の傾向】

「高齢者・障害者が暮らしやすいまち」が最も多く、次いで「豊かな自然環境の保全に配慮したまち」であり、この2項目が特に多い。



その他の意見

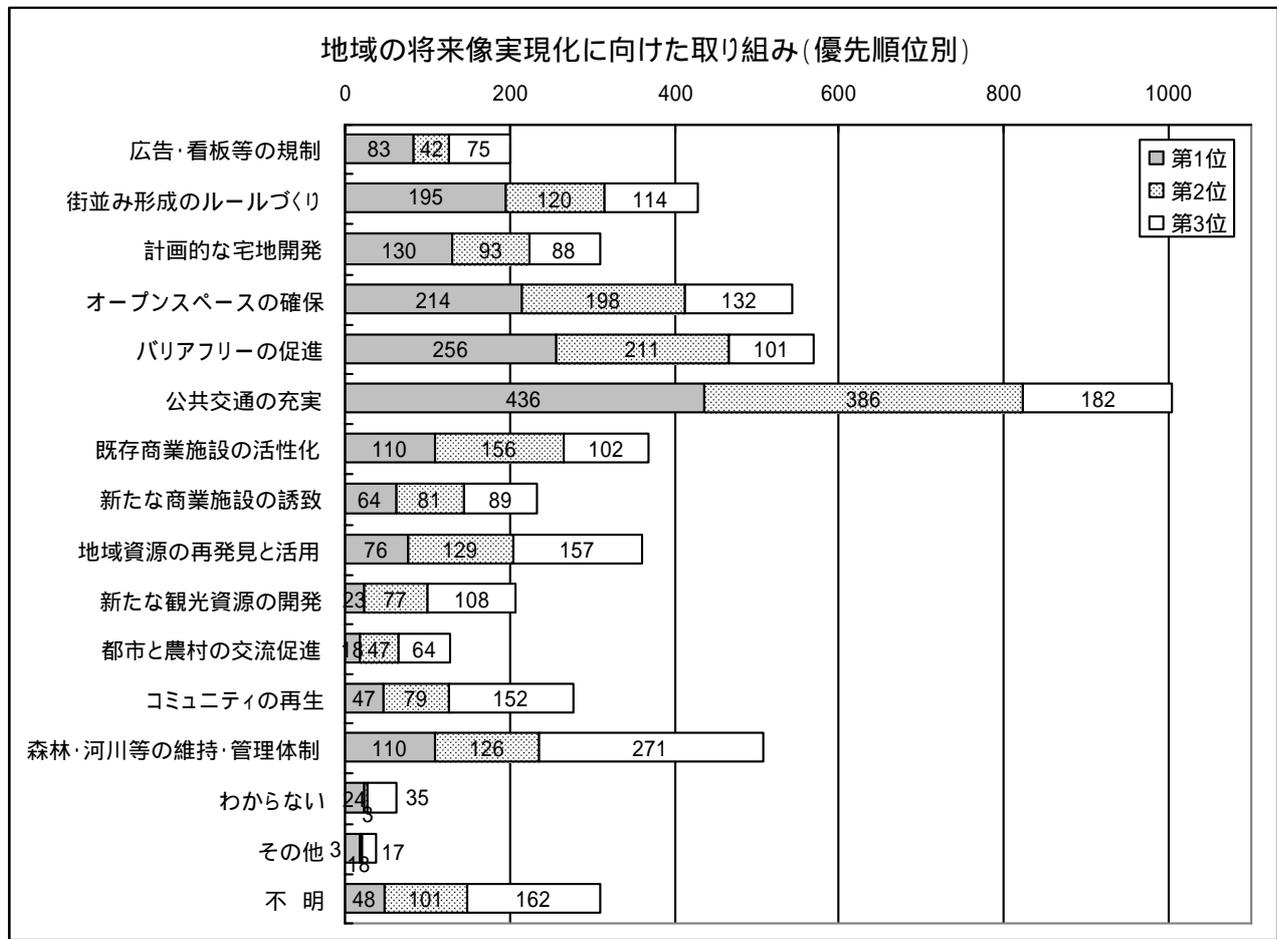
・子育てしやすいまち / 子供が安心して暮らせるまち / 若い世代が地元で働けるまち / 公共交通施設が充実したまち / 安心して歩ける歩道が整備されたまち / 公園などの緑が多いまち など



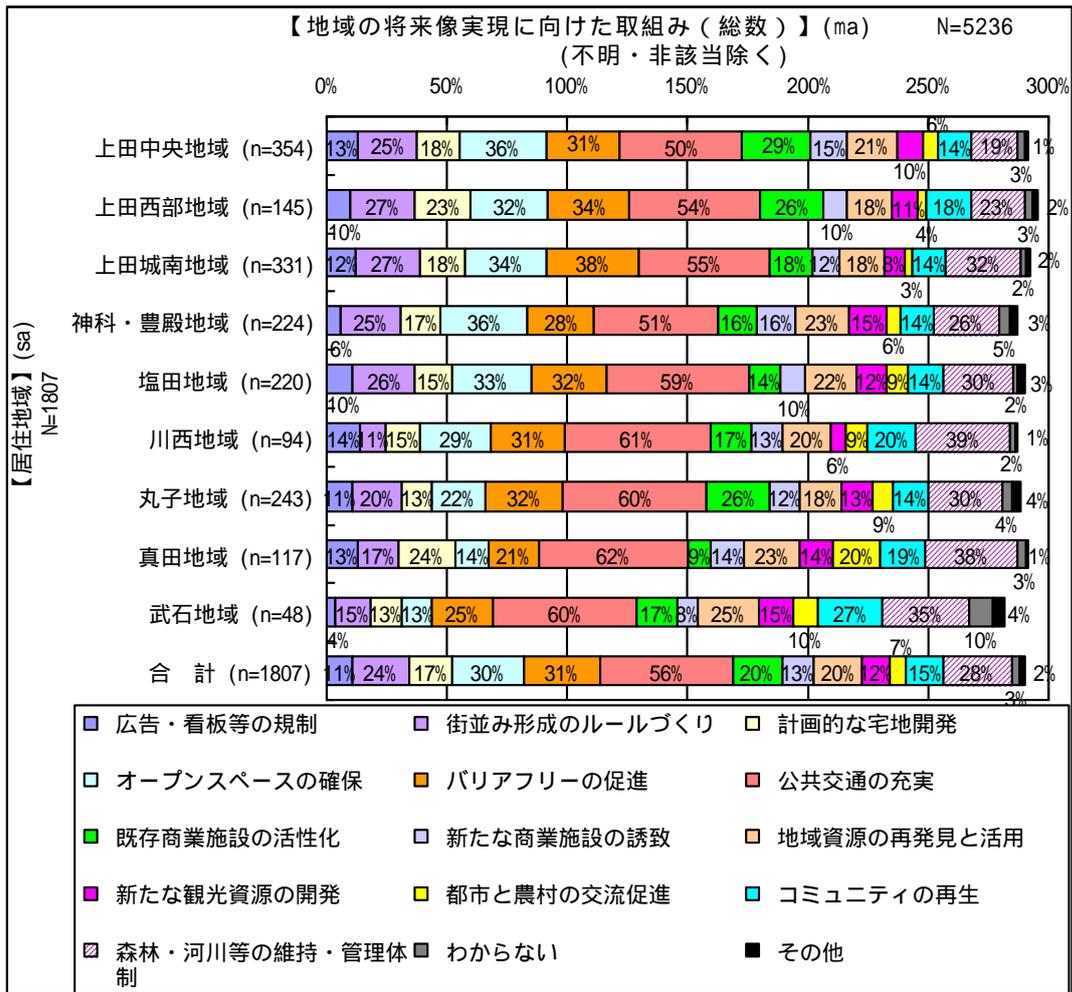
問9 上記のような地域にしていくためにどんなことが必要だと思いますか。優先順位が高いと思われる順に3つ選んでお答えください。

- 選択肢
- 1 幹線道路沿道等の広告・看板等の規制
 - 2 良好な街並み形成のためのルールづくり（建築協定など）
 - 3 計画的な宅地開発の促進
 - 4 公園等オープンスペースの確保
 - 5 公共公益施設等におけるバリアフリーの促進
 - 6 誰もが利用しやすい公共交通の充実
 - 7 既存商業施設の活性化
 - 8 新たな商業施設の誘致
 - 9 地域資源の再発見と活用
 - 10 新たな観光資源の開発
 - 11 グリーンツーリズム等による都市と農村の交流促進
 - 12 地域の活力創出に向けたコミュニティの再生
 - 13 住民・行政の協働による森林・河川等の維持・管理体制の構築
 - 14 わからない
 - 15 その他

【回答の傾向】
公共交通の充実が突出して多い。以下、バリアフリーの促進、オープンスペースの確保と続いており、問8の回答傾向を如実に反映した結果となっている。



その他の意見
・優良農地の保全 / 医療機関の充実 / 子供たちが遊べる広場づくり / 狭隘道路の解消 / 歩道整備 / 農村景観の保全 / イベントの開催 など

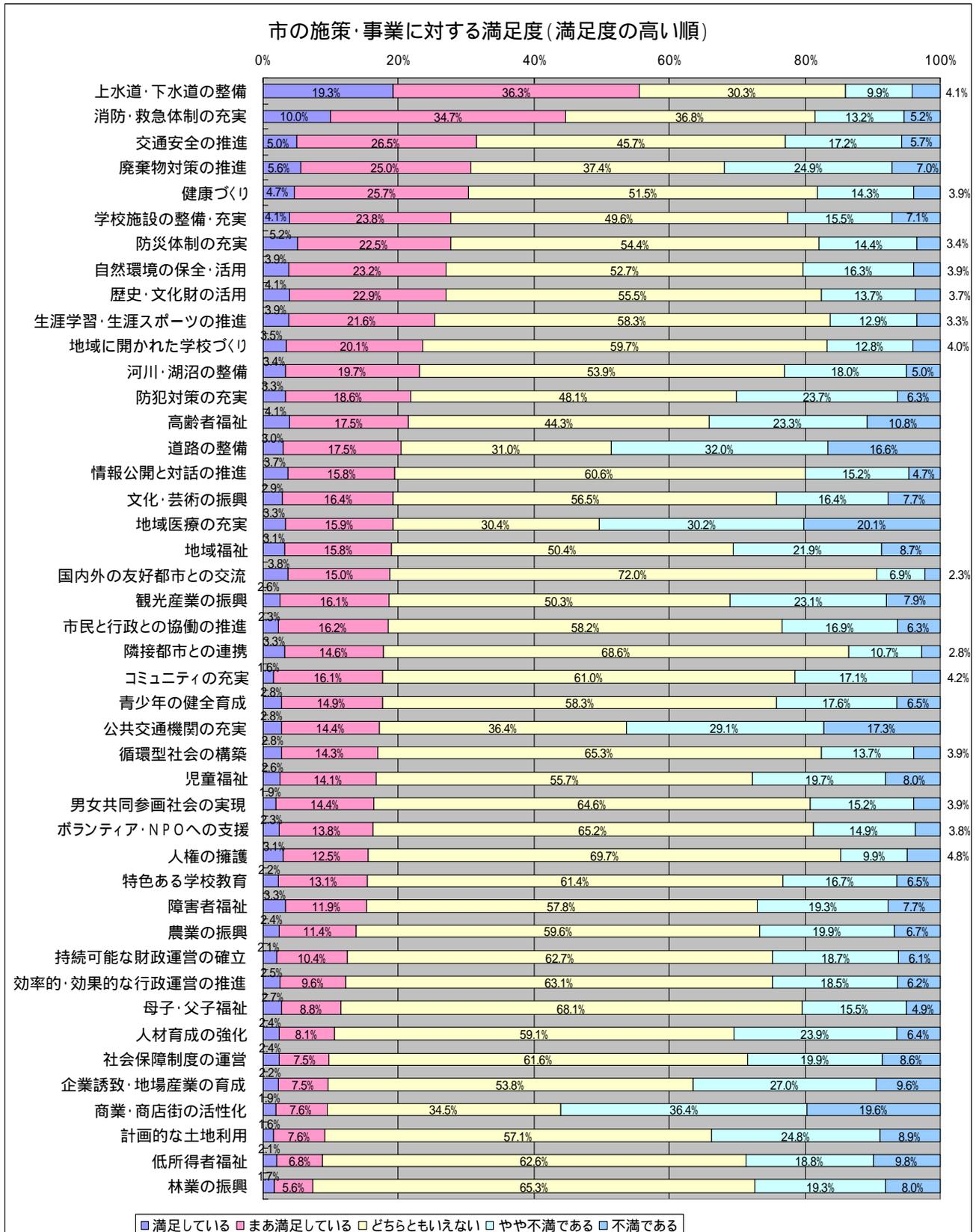


5. 市の全般的な施策や事業等について

問 10 以下に示す分野ごとの施策等について、どのように感じますか。次の項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んでください。

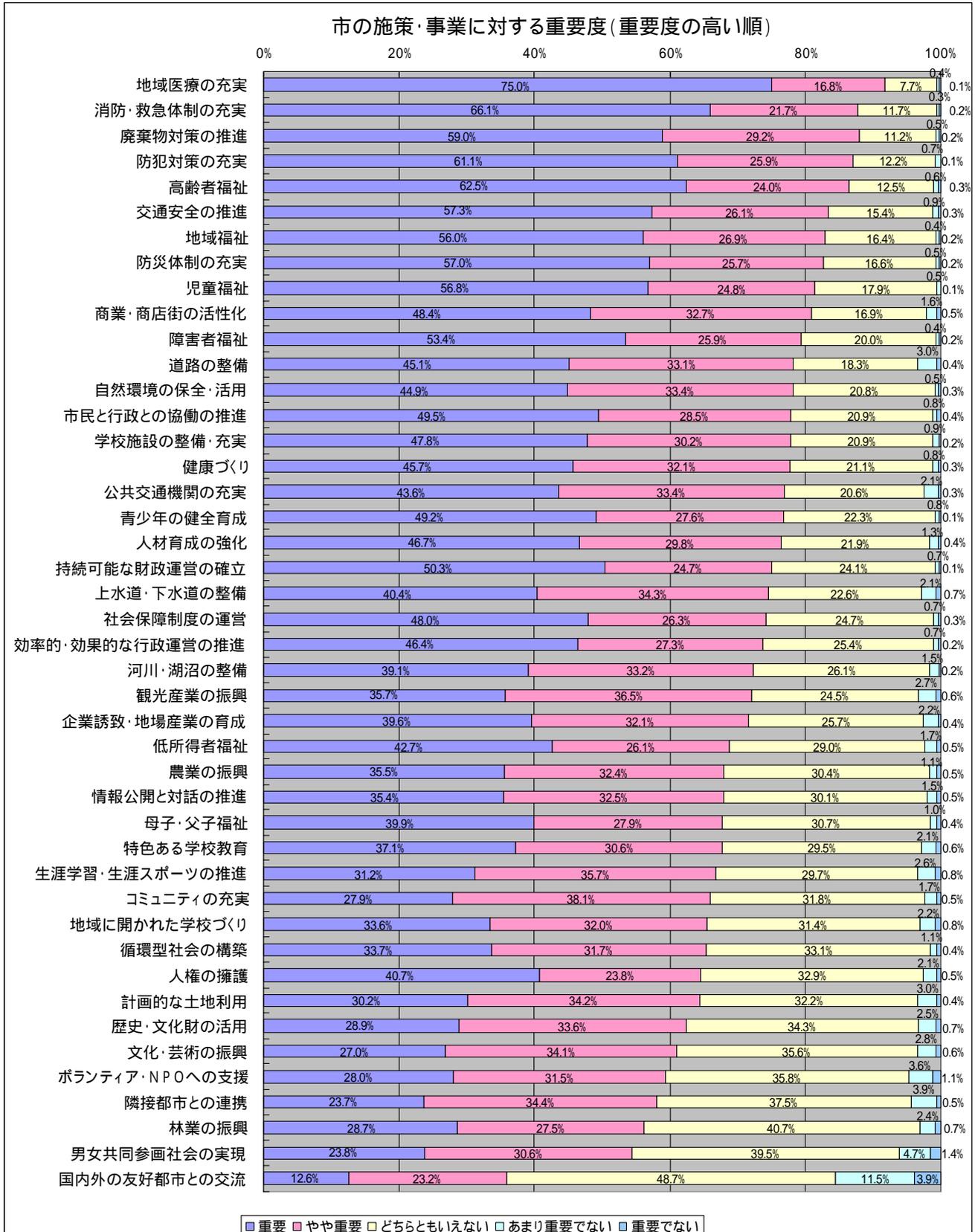
【回答の傾向】

満足度の上位3項目は、上水道・下水道の整備、消防・救急体制の充実、交通安全の推進であり、不満足の上位3項目は、商業・商店街の活性化、地域医療の充実、道路の整備の順である。



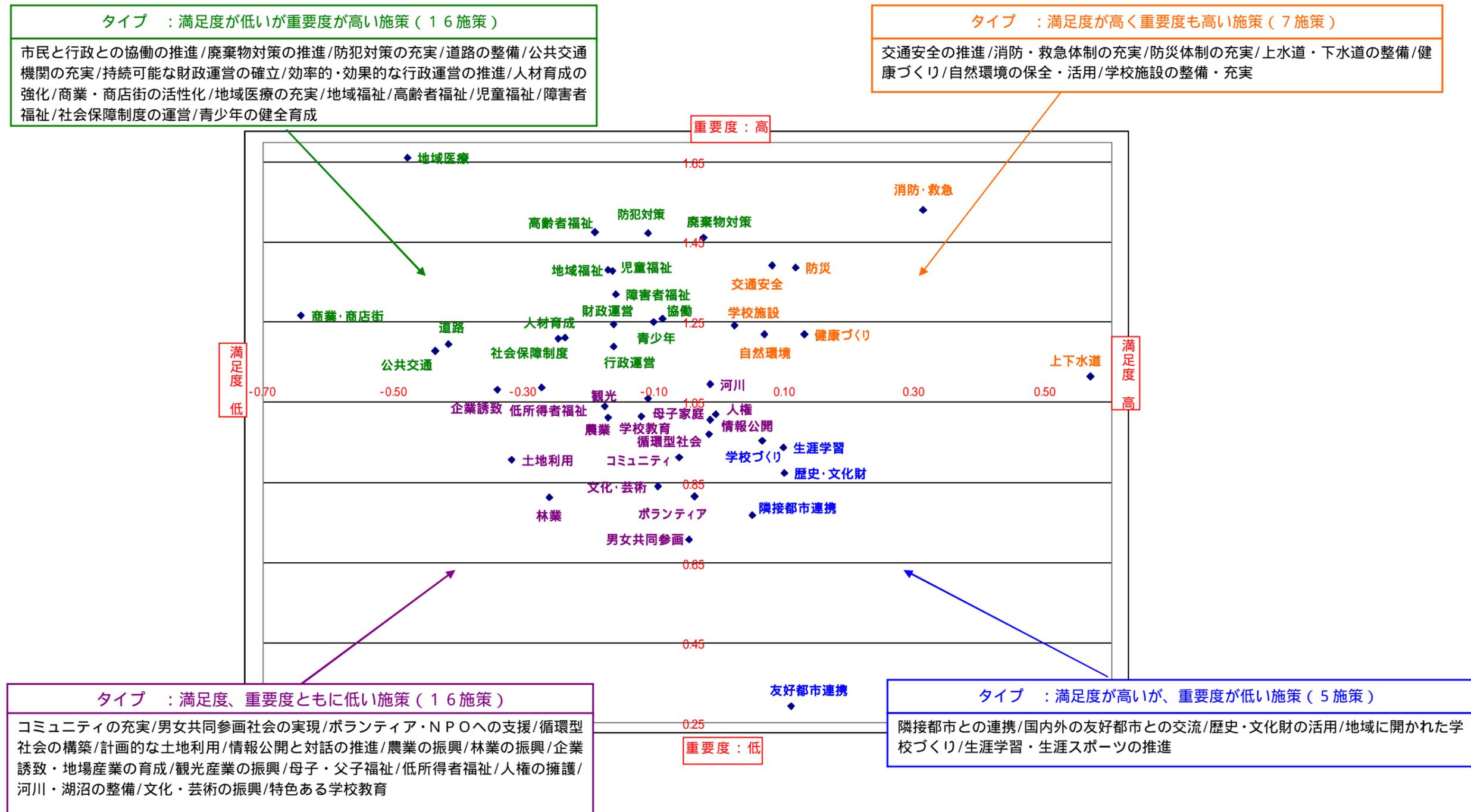
【回答の傾向】

前頁で示した満足度に対し、「どちらともいえない」という回答は少なく、全体的に「重要」「やや重要」の占める割合が高い。
重要度の上位3項目は 地域医療の充実、 廃棄物対策の推進、 消防・救急体制の充実である。



【市民の目から見た満足度と重要度のバランス】

- ・問 10 の各分野ごとに設定された 44 の施策について、満足度（横軸）と重要度（縦軸）を掛け合わせてグラフ上に示したのが以下の表である。これは、各施策に対する得点（満足... 2 点、やや満足... 1 点、やや不満... -1 点、不満... -2 点）を計算し、満足度、重要度の平均点をそれぞれ縦軸、横軸としているため、平均点以上の場合は「満足度（重要度）が高い」、以下の場合は「満足度（重要度）が低い」と表現している。
- ・問 10 の 44 の施策は、4 つのタイプに分類することができる（タイプ ~ ）。このうち今後の方針を定めるうえで特に注目すべきはタイプ （満足度が低いが高重要度の施策）であり、16 の施策が該当している。
- ・タイプ の施策には、コミュニティ、ボランティア・NPO 支援、男女共同参画など、住民の主体性が不可欠なものが含まれる。



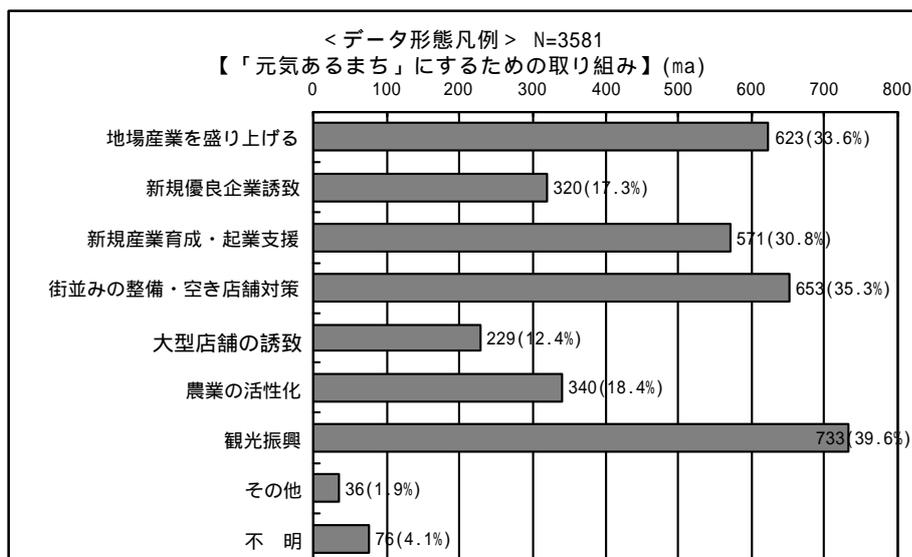
問 11 上田市を「元気あるまち」にするためには、特に産業振興が大きな要素となりますが、どのような取り組みが重要だと思いますか。次の中から 2つまで 選んでください。

選択肢

- 1 地域の資源や特徴を生かした地場産業を盛り上げる
- 2 新しく優良な企業などを誘致する
- 3 新たな産業の育成や起業を支援し、意欲のある人が十分に活躍できる環境を整える
- 4 地域の商店街が活気づくように街並みの整備や空き店舗対策などを行う
- 5 集客力の大きな大型店舗（ショッピングセンター）などを誘致する
- 6 地産地消や観光との連携などによる農業の活性化を進める
- 7 自然環境や地域の資源を活かした観光振興を進め、上田市に訪れる交流人口を増やす
- 8 その他

【回答の傾向】

最も多かったのは観光振興であり、以下、街並み整備・空き店舗対策、地場産業の順である。



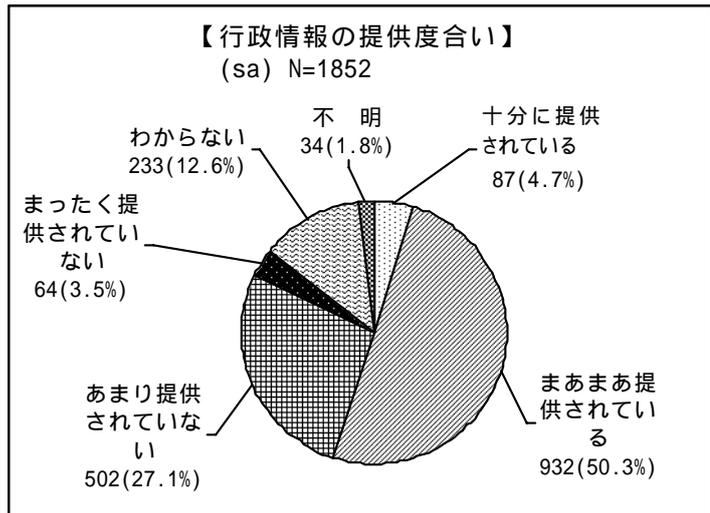
その他の意見

- ・定住者の増加 / 老人が歩いて買い物ができる町にしてほしい / 就業の場づくり / 文化施設の整備 / 観光と地場産業の融合 / 農村景観の保全 / イベントの開催 など

6. 市民参加・コミュニティについて

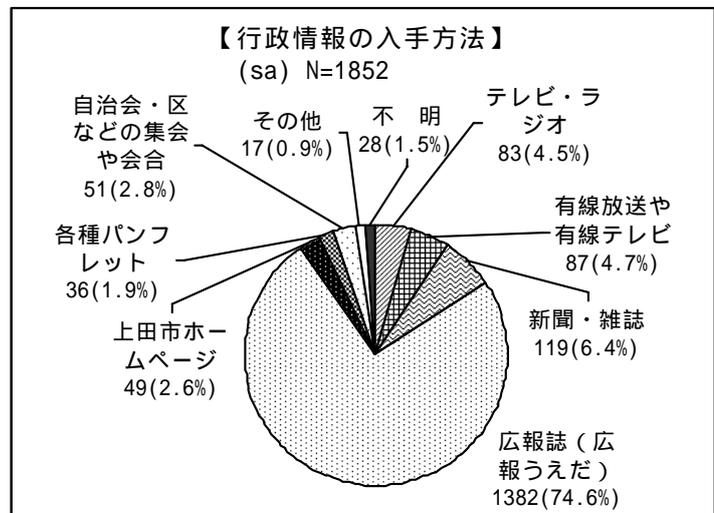
問 12 あなたは、行政情報が十分に提供されていると思いますか。次の中から 1つ選んでください。

【回答の傾向】
「まあまあ提供されている」が約半数を占めている。



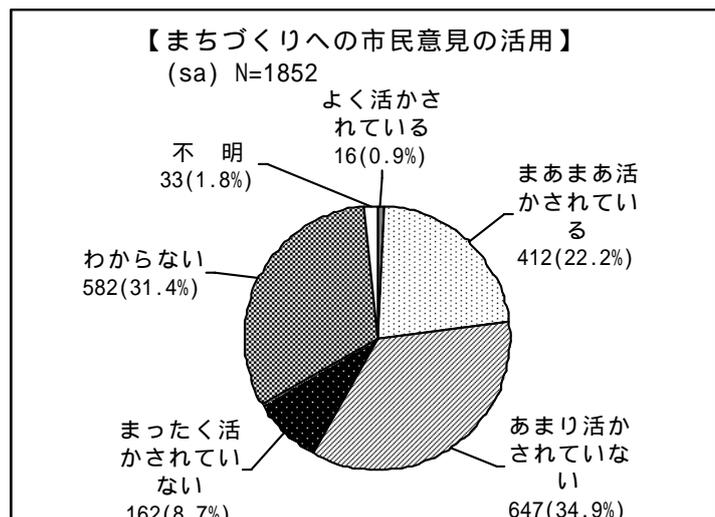
問 13 あなたは、上田市の行政情報を主に何によって入手していますか。次の中から 1つ選んでください。

【回答の傾向】
広報誌（広報うえだ）は行政情報の重要な入手手段となっている。一方、上田市ホームページは3%程度にとどまっている。



問 14 現在、市民の意見がまちづくりに活かされていると思いますか。次の中から 1つ選んでください。

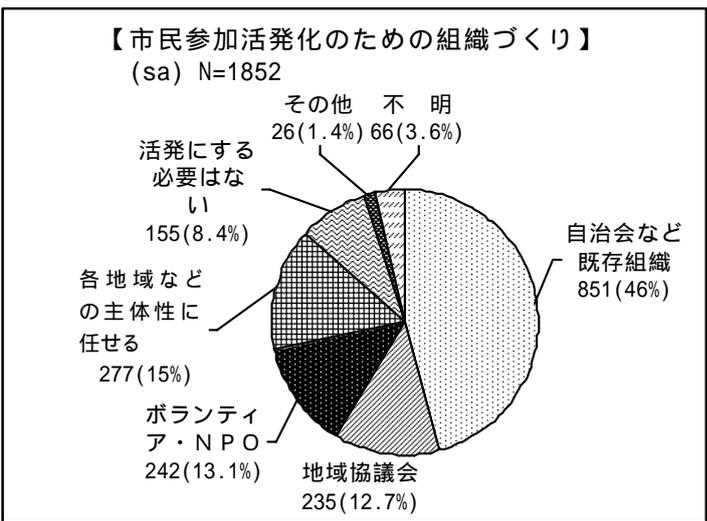
【回答の傾向】
最も多いのは「あまり活かされていない」であり、次いで「わからない」が多かった。



問 15 今後、地域やコミュニティの活動をより活発にしていくにはどのような組織づくりが望ましいと思いますか。次の中から 1つ選んでください。

【回答の傾向】
最も多かったのは「自治会などの既存組織」であり、地域協議会やボランティア、NPO などの新しい組織がそれに続く。

その他の意見
・年齢・性別・経歴などにこだわらず、意欲やアイデアのある人を集めた組織 / 自治会の体質は古すぎる / 市民の勉強会開催 など

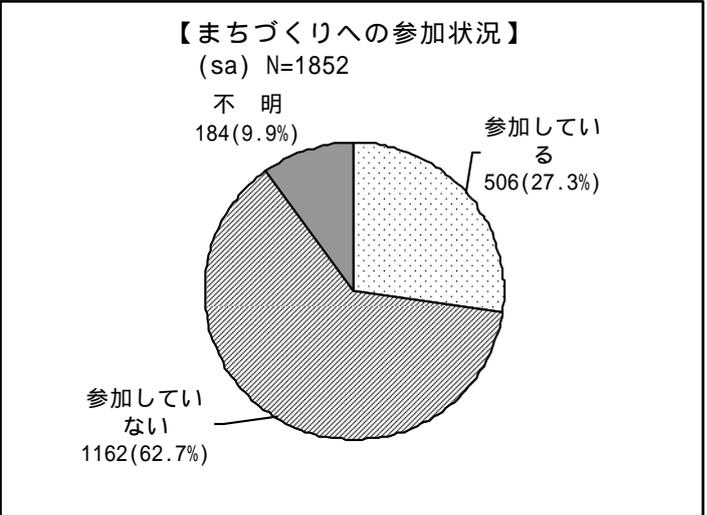


問 16 市民参加についてのあなたのお考えをお答えください。

- 活動分野
- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1 都市計画・景観づくり | 2 防災・防犯活動 | 3 交通安全活動 |
| 4 子育て支援 | 5 高齢者の支援 | 6 障害児や障害者の支援 |
| 7 健康づくり活動 | 8 ゴみの減量化・リサイクル | 9 自然保護や環境の保全 |
| 10 まちの美化・緑化活動 | 11 青少年健全育成 | 12 スポーツ活動への支援 |
| 13 学校教育・生涯学習 | 14 芸術や文化への支援 | 15 国際交流・外国人交流 |
| 16 産業振興・観光振興 | 17 消費生活への支援 | 18 歴史の保存・継承 |
| 19 その他 | | |

16- あなたは現在、上記の《活動分野》のうち、どれかに参加していますか。

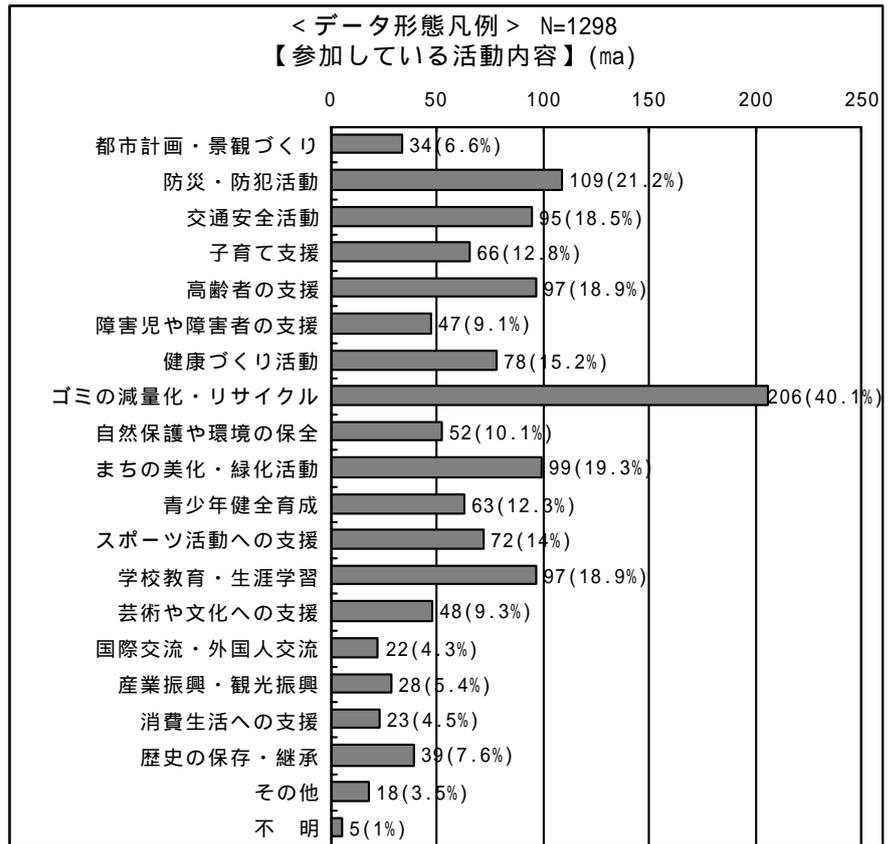
【回答の傾向】
約 3 割の方がまちづくりに参加している。



16- あなたは現在どのような活動分野に参加していますか。上記の《活動分野》のうち、主なものを5つまで番号でお答えください。

【回答の傾向】

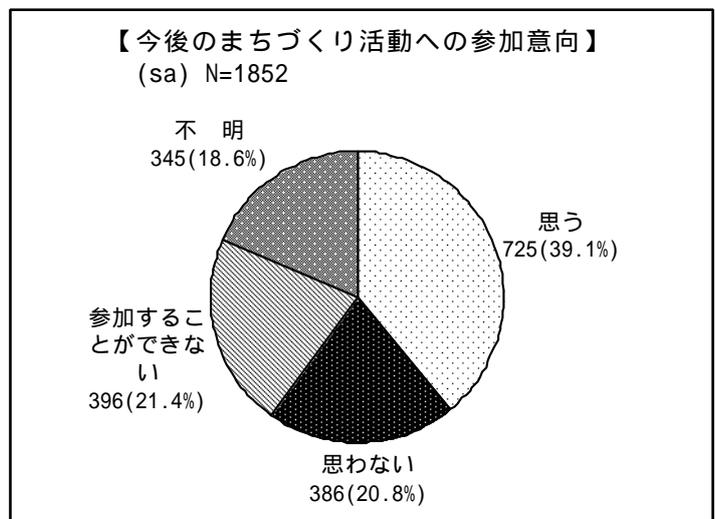
最も多かったのは「ゴミの減量化・リサイクル」以下、「防災・防犯活動」、「まちの美化・緑化活動」、「高齢者の支援」、「学校教育・生涯学習」の順である。



16- あなたはこれから、上記の《活動分野》のうち、どれかに参加したいと思いますか。

【回答の傾向】

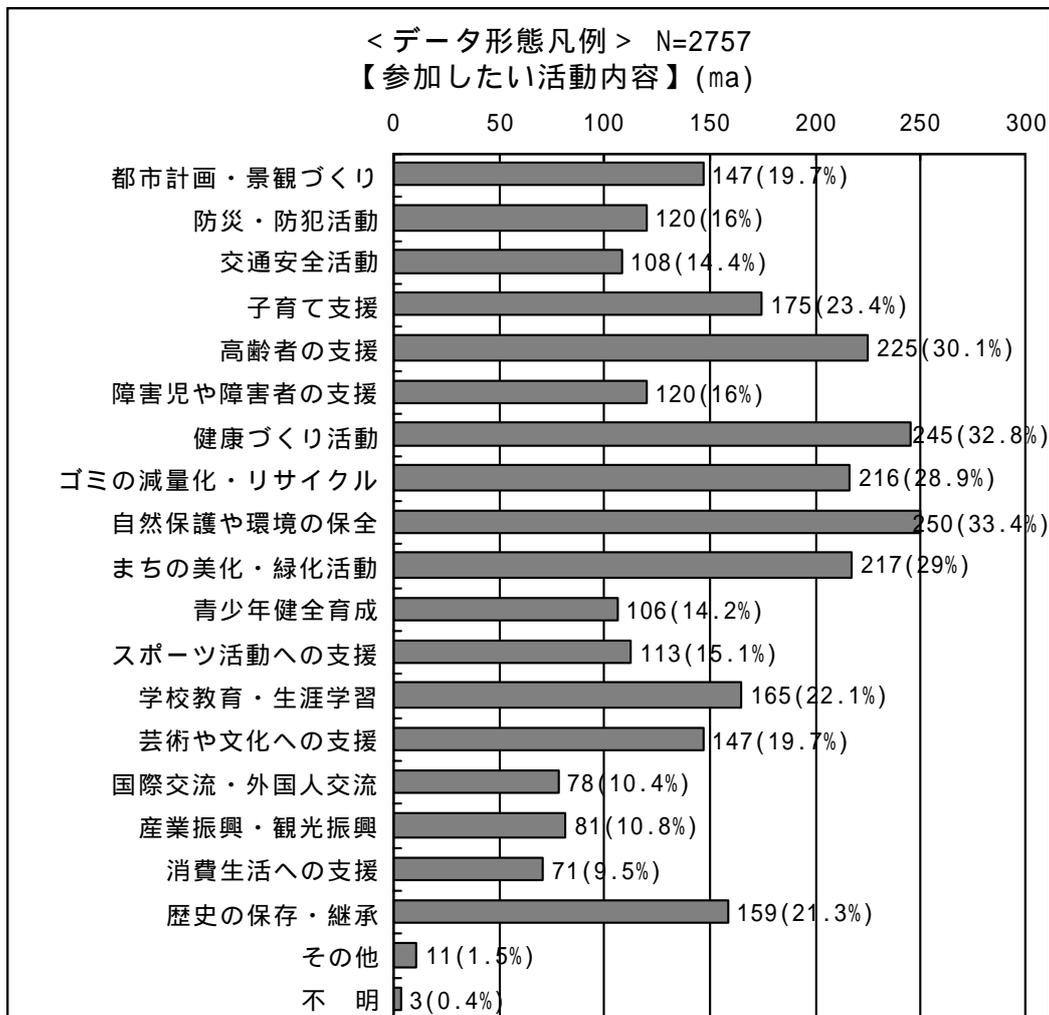
約4割の方がまちづくり活動に参加したいと考えており、参加状況と比較すると約1割高くなっている。



16- あなたはこれからどのような活動分野に参加したいと思いますか。上記の《活動分野》のうち、主なものを5つまで番号でお答えください。

【回答の傾向】

最も多かったのは「自然保護や環境の保全」であり、現在活動している分野での回答に比べ大幅に増えている。以下、「健康づくり活動」「高齢者支援」となっている。



7. 上田市の自慢できること・ものについて

自慢できること・ものについては、1,104 人の方から回答が寄せられています。(回答率：約 60%) なお、内容については、現在集計・整理中です。

8. 今後のまちづくりについて (自由意見)

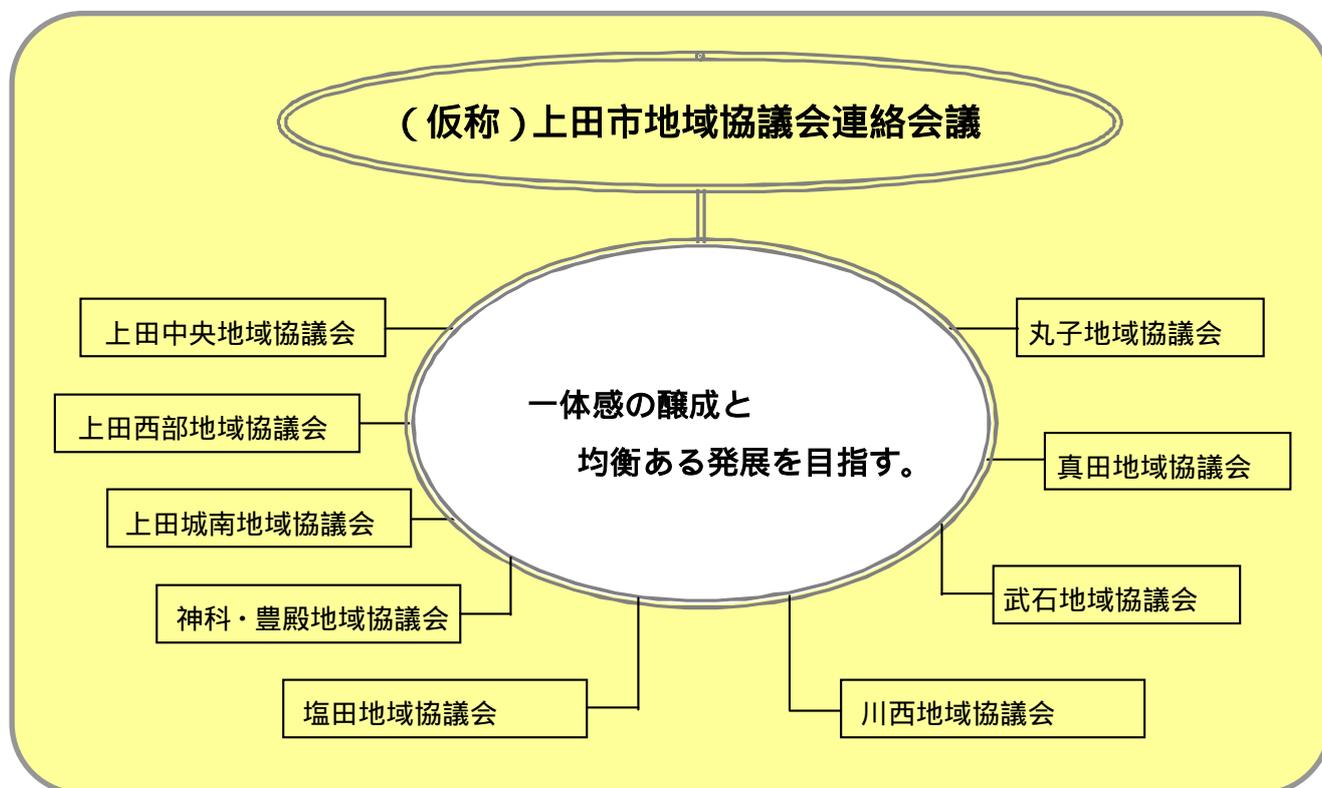
自由意見は、1,055 人の方から回答が寄せられています。(回答率：約 57%) なお、内容については、現在集計・整理中です。

「(仮称)上田市地域協議会連絡会議」の設置について

～ 上田市全体の発展のために ～

1 設置の必要性について

上田市全体の一体感の醸成と均衡ある発展のために、各地域協議会における共通事項の全体調整や情報の交換・共有、連携を図るため、それぞれの地域協議会選出委員で構成される「(仮称)上田市地域協議会連絡会議」を設置したい。



2 連絡会議の詳細について

(1) 組織

委員は、各地域協議会の会長及び副会長（18名）によって構成します。

(2) 任期

委員の任期は、協議会の委員任期によります。

(3) 組織

連絡会議に会長及び副会長を置きます。

(4) 任務

協議会の活動等に関する情報交換とその他連絡会議が必要と認めた事項です。

(5) 会議

連絡会議は、会長が招集し、議長となります。

会議は年3～4回を予定しています。

(6) 報酬

無報酬です。

3 連絡会議のイメージ

